

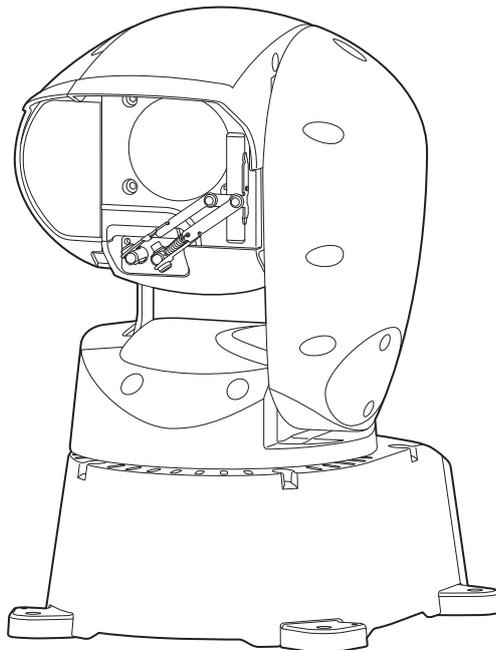
Panasonic[®]

取扱説明書 簡易版

施工説明付き

HD インテグレートドカメラ

品番 **AW-HR140**



簡易版
取扱説明書

詳細は、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工前に「安全上のご注意 (施工時)」(4～5ページ) を必ずお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(18～20ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

■ 商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10、Internet Explorer®、ActiveX® およびDirectX® は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、OS X、iPhone、iPod Touch、iPad、Safari は、米国Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Android™ はGoogle Inc. の商標または登録商標です。
- Intel®、Intel® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe®およびReader®は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32/64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 8と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 8.1と表記しています。
- Microsoft® Windows® 10 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 10と表記しています。
- Windows® Internet Explorer® 8.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 9.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 10.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 11.0 日本語版をInternet Explorerと表記しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-HR140	AW-HR140
AW-HS50	AW-HS50
AW-RP50	AW-RP50
AW-RP120G	AW-RP120
AK-HRP200G	AK-HRP200

■ 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Windowsのみ利用可能な機能には、**Windows** マークを付けて記載しています。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

施工説明

安全上のご注意	4	接続	12
設置上のご注意	6	HDモニターとの接続	12
設置の前に	8	コントローラー(AW-RP50/AW-RP120/AK-HRP200のいずれか)との接続	12
MODEスイッチの設定	8	システム例1(シリアル制御)	13
設置・接続のしかた	8	システム例2(IP制御)	14
設置面を工事する	8	システム例3(IP映像伝送、PoE++)	15
カメラを設置面に取り付ける	8	システム例4(市販コントローラーとの接続)	16
ウォッシュャーノズルの取り付け例	9	システム例5(PoE++を使用した光ファイバーシステム/オーディオ接続)	16
落下防止ワイヤーを固定する	9	外形寸法図	17
ケーブルカバーの取り付け	10		
吊り下げ設置する場合	10		
回転範囲の切り替え(吊り下げ設置)	10		

取扱説明

安全上のご注意	18	ネットワークの設定を行う	35
接地に関するご注意	20	IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う	35
はじめに	21	表示用プラグインソフトウェアをインストールする	36
概要	21	ユーザー認証機能の使用をご検討ください	36
必要なパーソナルコンピューター的环境	21	故障と思ったら	37
免責について	22	定 格	46
ネットワークに関するお願い	22	さくいん	49
特 長	23	保証とアフターサービス(よくお読みください)	50
対応コントローラー	24	修理を依頼される時	50
付属品	25		
使用上のお願い	26		
各部の名前とはたらき	28		
AW-RP50(別売品)	30		

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 **警告**

設置するときは…

	<p>■ 下記の場所には設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 油の付着しやすい所 ● 異常に温度が高くなる所 ● 腐食性ガスが発生する所 ● 雪が落下するような所 ● 風が強い所 (風速60 m/s以上) (火災や感電、落下の原因になります。)
	<p>■ 工事専門業者以外は高所への取り付け工事を行わない (工事の不備により、落下してけがの原因となります。)</p>
	<p>■ ケーブルをステップルで固定しない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 総質量に耐える場所に取り付ける (取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因になります。) ⇒ 十分な強度に補強してから取り付けてください。</p>
	<p>■ 振動がある場所に設置する場合は、確実に固定する (落下によるけがや事故の原因となります。)</p>
	<p>■ 施工説明書(本書)に従って、床/天井にしっかりと取り付ける (落下などでけがの原因になります。)</p>
	<p>■ 落下防止対策を施す (落下によるけがの原因になります。) ⇒ 落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。</p>
	<p>■ ねじやボルトは、指定したトルクでしっかりと締め付ける (締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。) ⇒ 「設置上のご注意」(→6~7ページ)、「設置・接続のしかた」(→8~10ページ)を参照してください。</p>
	<p>■ 配線は、外部DC電源の電源プラグ、およびPoE++給電のLANケーブルを抜いてから行う (感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 防雪対策を施す (雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります。) ⇒ ひさしなどで防雪してください。</p>

 **注意**

- **放熱を妨げないように取り付ける**
(放熱を妨げると火災の原因になります。)
- **取り付けねじが床／天井内部の電気配線に接触しないように設置する**
(感電の原因になります。)
- **アンカーの引抜強度を確保できる場所に取り付ける**
(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)
- **人がぶつからない高さに取り付ける**
(けがの原因となります。)
- **機器の取付には注意する**
(機器を足に落とすと、けがの原因となります。)

設置上のご注意

この施工説明書に従わない設置、取り付けによる事故、損害については、当社は一切の責任を負いません。

工事業者様へ

この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。
また、4～5ページの「安全上のご注意」は重要な内容ですので、必ずお読みください。
工事完了後は、この「施工説明書」をお客様にお渡しいただき、保管いただきますようお願いいたします。

■ 設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

■ 本機は屋外の設置に対応した据え置き機器です

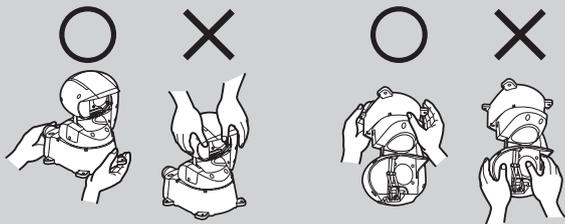
車載用ではありません。
極度な振動が加わる場合は、振動を軽減する処置を施して使用してください。

■ 本機は吊り下げおよび据え置きにてご使用ください

横向きや傾けた状態での使用はおやめください。

(NOTE)

- 本機を取り付けるボルト(M8)は、必ず付属のものを使用してください。木ねじおよびくぎなどは使用しないでください。コンクリート天井の場合は、アンカーボルト(M8用)またはAYプラグボルト(M8用)で固定してください。
推奨締付トルク M8 : 11.76 N・m {120 kgf・cm}
- 取り付け場所のねじ引抜強度は、1本あたり1764 N {180 kgf}以上が必要です。
- カメラヘッド部分を持って作業しないでください。故障の原因になります。



据え置き設置のとき

吊り下げ設置のとき

■ 設置場所について

- 設置場所は、お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な天井や床面などをよく選んで設置してください。
- 強度が十分ある天井や床面(コンクリート製)に取り付けてください。
 - カメラ本体は、建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。
 - 石こうボードや木部は、強度が弱いので取り付けしないでください。やむを得ず取り付けの場合は、十分な補強を施してください。

■ 防水・防塵について

本機は、正しく設置された場合に、IP65準拠の防水・防塵性能を確保します。
必ず、配線ケーブルの処理など、本書の内容に従って設置してください。

■ 以下のような場所での設置および使用はしないでください

- プールなど、薬剤を使用する場所
- 厨房などの蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
- 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
- 直接海水がかかる場所、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲(→46ページ)を超える場所
- 車両や工場ライン上などの振動の多い場所(本機は車載用ではありません。)
- エアコンの室外機付近など、急激に温度が変化する場所(前面ガラス内部が曇ったり、結露したりする場合があります。)

■ 海岸地域への設置について

- 本機は、耐重塩害仕様として、耐塩害処理を施していますが、腐食に対して万全ではありません。海水飛沫が直接当たらない場所に設置するなど、設置場所には十分ご配慮ください。
- 特に海岸地域や融雪剤を散布される地域で雨水が当たらない場所へ設置する場合は、付着した塩分を除去するために定期的に水で洗い流すなど清掃をお願いします。
- 海岸地域や融雪剤を散布される地域に設置する場合は、機器の状態を定期的に点検してください。(必要に応じて部品交換などを実施してください。)
- 本機を設置する基礎部分、ポールなどについても耐重塩害仕様のものご用意ください。

■ ゴム製品による硫化について

硫黄を含むゴム製品(パッキンやゴム足など)の近くに本機を設置しないでください。ゴム製品からの硫黄成分により、電気部品や端子などが硫化腐食し、不具合を発生するおそれがあります。

■ アンカーボルトやねじの締め付けについて

- アンカーボルトやねじは、取付場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは、使用しないでください。ねじの破損の原因となります。
- アンカーボルトやねじは、まっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

■ 長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
- 設置場所への冷房や暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

設置上のご注意（つづき）

■ 本機の設置には、必ず指定のボルトを使用してください

- ・ 指定方法以外の取り付けは行わないでください。
- ・ 本機に付属の取付ねじは、改造しないでください。

■ 湿度について

本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。
降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまり前面ガラス内が曇ることがあります。

■ ヒーターとデフロスターについて

本機の動作を保証する温度の下限は、 -15°C です。
寒冷地でも使用いただけるように、本機内部には、ヒーターとデフロスターが組み込まれています。
ヒーターとデフロスターは、本機内部の温度が約 0°C 以下になると自動的に作動します。
ただし、 -15°C 以下の厳しい環境下では、前面ガラスや可動部に付着した雪や霜を解凍することができない場合があります。
寒冷地で使用する場合は、周囲および本機内部の温度に注意してください。
 -15°C 以下の環境で使用すると、起動直後に正常な画像が得られない場合があります。
このような場合は、本機のヒーターによりカメラ内部が十分に暖まるのを待ってから（ -15°C 以下では約1時間以上）いったん電源を切り、再度電源を入れ直してください。

■ 雷に対する保護について

ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。
このようなときは、本機のすぐ近くに避雷器を設置し、雷の影響を受けないように、本機と避雷器間のネットワークケーブル長さをできるだけ短くなるように配線してください。

■ 設置を行う前に、必ずDCコネクタを抜いてください

設置には、必ず付属の部品を使用してください。
取付金具の分解、改造はしないでください。

■ 取付ねじの締め付けについて

- ・ ねじやボルトは、取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。
- ・ ねじやボルトを締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- ・ 所定の工具にて確実に締め付けてください。
- ・ ねじの締め付けの際は指定のトルクドライバーなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

■ 使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください

■ 設置または移設・撤去を行うときは、必ず台座部分を持って行ってください

カメラヘッド部を持ったり回したりすると、故障の原因になります。

■ 本機にフィルター、エクステンダーなどを取り付けないでください

■ 電源スイッチについて

本機に電源スイッチはありません。
電源を入れるとパン・チルト・ズーム・フォーカスの各テスト動作が行われます。その間は、手を触れないでください。
また、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ アース（接地）について

ご使用前に、SIGNAL GNDとのアース（接地）が正しく確実に取り付けられていることをご確認ください。

■ ノイズ障害が考えられる場合

AC 100 V以上の電力線（電灯線）と信号ケーブルを1 m以上離して配線工事を行うか、別々の金属管に通す配管工事を行ってください。（金属管は必ずアースを取ってください。）

■ 電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、ノイズが入ったりすることがあります。

■ ケーブル配線時には、コネクタ部に負荷がかからないようにしてください

故障の原因になります。

■ 放熱について

本機は、本体表面から放熱させています。
壁などに囲まれ、熱がこもる場所には設置しないでください。また、底面に放熱しているため熱くなりますが、異常ではありません。

■ PoE++による電源供給について

PoE++ (IEEE802.3bt Draft ver.2.0準拠) 対応のハブ、または給電装置を使用してください。

■ 取り付けねじが天井内部の電気配線に接触しないように設置してください

■ 動作の妨げやけがを防止するために

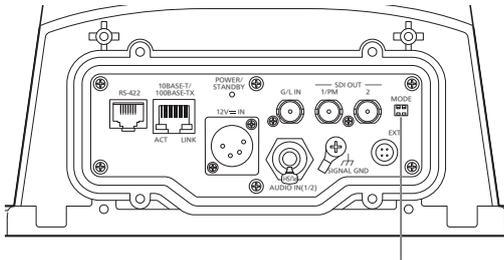
本機の動作を妨げる行為やけがを防止するために、本機に一般の人が触れたり近づいたりしないようにしてください。

設置の前に

本機の設置を行う前に、あらかじめ、本機端子面、本機底面のスイッチ類の設定を行ってください。
本機の設置後は、スイッチ類の設定や変更が困難な場合があります。

MODEスイッチの設定

MODEスイッチは、本機端子面にあります。



MODEスイッチ

スイッチのポジション	機能
1	AWシリーズプロトコル設定 (出荷時の設定)
2	標準プロトコル設定 (Baud Rate 38400 bps)
3	標準プロトコル設定 (Baud Rate 9600 bps)
4	メンテナンス用のポジションになります。 このポジションでは、使用しないでください。

設置・接続のしかた

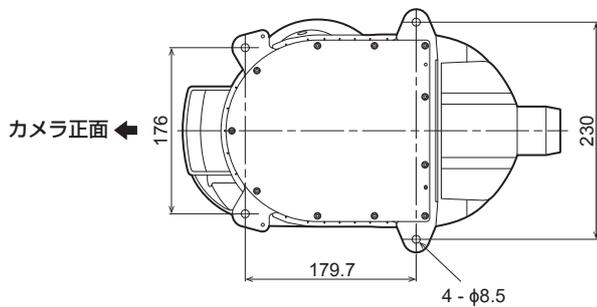
「安全上のご注意」(→4～5ページ)および「設置上のご注意」(→6～7ページ)を必ずお読みください。

設置面を工事する

設置場所にボルトを溶接加工するか、またはアンカーを打ち込む工事をします。
ここでは、アンカーを打ち込んでねじで固定する場合について説明します。
取り付け部分の寸法(位置と金具の穴径)は以下ようになります。

カメラを直接設置面に固定する場合

単位：mm



AW-HR140を底面から見たイメージ

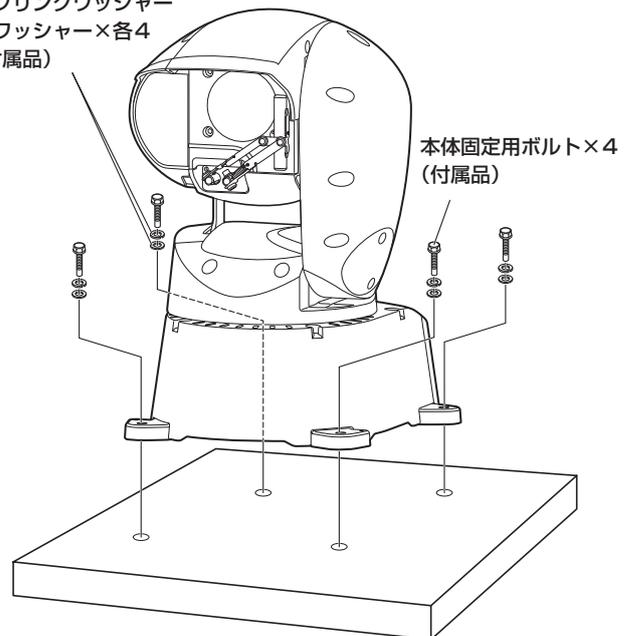
<重要>

- ・取り付ける設置面は、水平であることを確認してください。
- ・アンカーボルトを設置部分に溶接する場合、ねじを切った部分の長さは、最大で40 mm、最小で30 mmです。
最低引抜強度：1764 N {180 kgf} /1本あたり
- ・カメラまたはアタッチメント金具と躯体間の固定ねじは、耐食処理ねじを使用するかもしくは、コーキングを行うなど腐食等に対して十分に配慮してください。

カメラを設置面に取り付ける

直接設置面に固定する場合

スプリングワッシャー
平ワッシャー×各4
(付属品)



<重要>

- ・カメラを設置面に下ろす前に、あらかじめ底面配線口または側面配線口にケーブル類を通しておきます。
本体取り付け推奨締付トルク：
11.76 N・m {120 kgf・cm}
本体固定用ボルトまたはアタッチメント金具固定ねじの最低引抜強度：
1764 N {180 kgf} /1本あたり

(NOTE)

- ・ウォッシャーノズルを使用する場合は、ウォッシャーノズル取付金具(付属品)に前もってウォッシャーノズルを取り付け、前述の「カメラを設置面に取り付ける」(→8ページ)でカメラを固定するときに同時に固定してください。

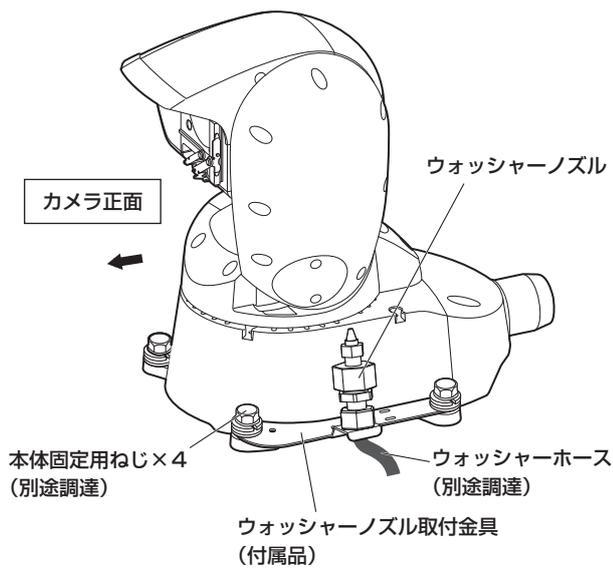
設置・接続のしかた (つづき)

ウォッシャーノズルの取り付け例

取り付け可能なノズル寸法φ 16 mm



ウォッシャーノズル取り付け金具の固定

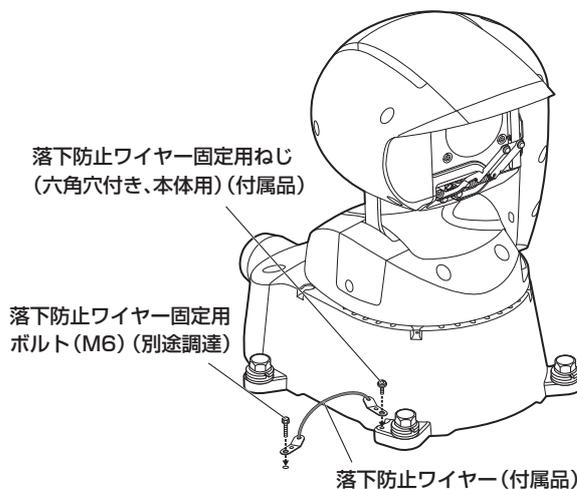


〈NOTE〉

- ウォッシャーノズル取付金具は、カメラの側面に取り付けてください。
- 設置動作確認後、ウォッシャーノズルの向きを調整し、前面ガラスに水流が当たることを確認してください。
- ウォッシャーの制御は、EXT端子(→29ページ)の2番ピンと3番ピンをウォッシャーユニットに接続し、カメラメニューおよび、コントローラーから制御を行ってください。
- ウォッシャー液は、ウォッシャー液がウォッシャーホースに満たされるまで噴射されません。
- ウォッシャー液で洗浄する位置よりも内側にリミッターを設定した場合、ウォッシャーの動作を行いません。
- ウォッシャー機能を使う場合は、OSDやWeb画面の[Washer]を[Yes]に設定してください。
洗浄ノズルの位置にカメラヘッドを移動して洗浄液を一定時間噴射し、その後、元の位置に戻ります。
洗浄中は、ワイパーも一時的に動作します。
- ウォッシャー位置の変更は、据え置き設置、または吊り下げ設置のいずれかの設置条件によって異なります。
本機を取り付ける前に、洗浄ノズルの位置にカメラヘッドが移動することを確認し、ウォッシャー機能が正しく動作することを確認してください。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

落下防止ワイヤーを固定する

落下防止ワイヤーを、建築物の基礎部分、または十分な強度(最低引抜強度 1764 N {180 kgf} 以上)がある部分に固定します。
M6の固定ボルトは、取付場所の材質に合わせて別途調達してください。



〈重要〉

- 万一本機が外れた場合でも、周囲の人に当たらないように落下防止ワイヤーを取り付けてください。

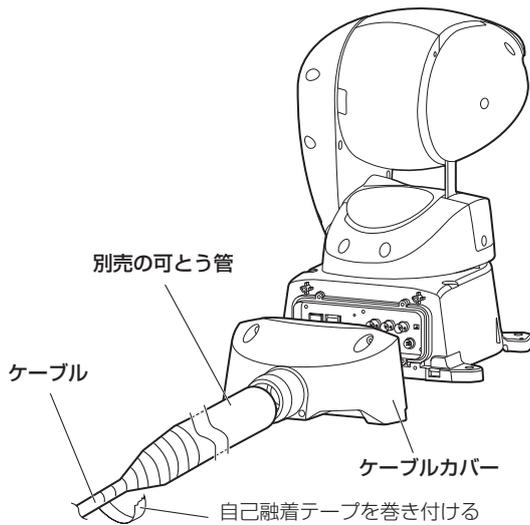
設置・接続のしかた (つづき)

ケーブルカバーの取り付け

本機に接続する各ケーブル(コントロールケーブル、オプションのウォッシャーケーブルなど)を、付属のケーブルカバーに通します。それぞれのケーブルを本機背面の各コネクタに接続します。「接続」(→12~16ページ)参照
ケーブルカバーを本機背面の各コネクタ部に取り付け、4本のねじでしっかりと固定します。

<重要>

- ケーブルカバーを取り付ける4本のねじは、指定のトルクでしっかりと締め付けてください。
内部への浸水による故障や落下の原因になります。
ケーブルカバー取り付け推奨締め付トルク：
0.5 N・m (5.1 kgf・cm)



ケーブルの保護を必要とする環境に設置する場合は、別売の可とう管をご用意ください。

可とう管には、以下の推奨品、もしくはケーブルカバー背面の外径(φ51 mm)に合う管を選定し、自己融着テープを巻き付けて接続部の保護と防水処理をしてください。

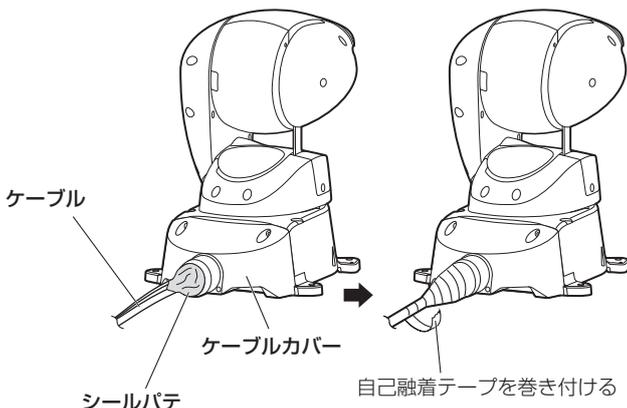
別売の可とう管(推奨品)

部品番号：

パナフレキPV、呼び径28
DMW128N(パナフレキPV本体)

<NOTE>

- 屋外の配線には、耐候性のケーブルを使用してください。
- ケーブル保護管を使わない場合は、ケーブルカバーの開口にケーブルを通した後、シールパテで開口を埋め、自己融着テープを巻き付けてください。



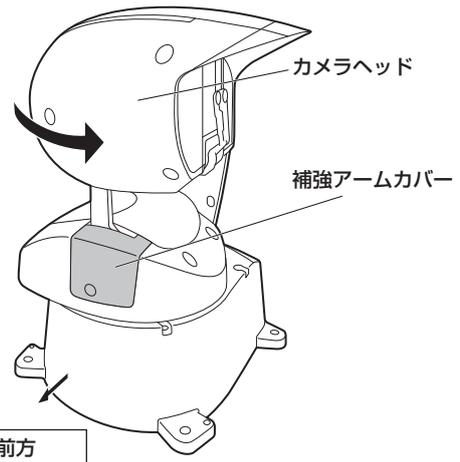
吊り下げ設置する場合

本機を屋外にポール設置など吊り下げで設置する場合は、雨よけや鳥害防止のため、4か所の寸法に合わせたφ350 mm以上の取り付け金具を用意してください。
取り付け部の構造は、「設置面を工事する」(→8ページ)を参照してください。

回転範囲の切り替え(吊り下げ設置)

本機を吊り下げて設置する場合は、左右175度の回転範囲を確保するためにメカニズム機構の切り替えが必要です。

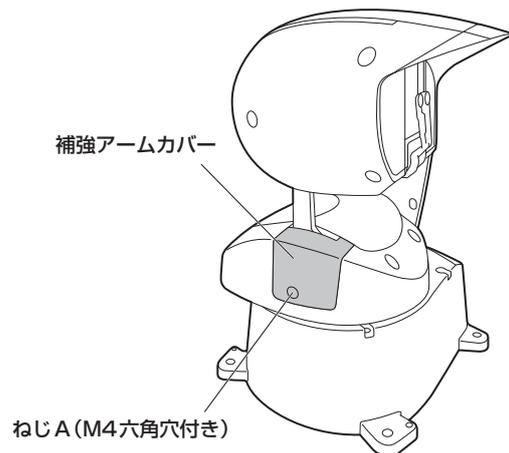
1. カメラヘッドを図の位置まで回転させる



<NOTE>

- 補強アームカバーは、必ずボディーの前方に向けてください。
他の位置で作業を行うと、機器内部のケーブルに負荷がかかり、故障の原因になります。

2. ねじAを緩めて補強アームカバーをボディーから外す

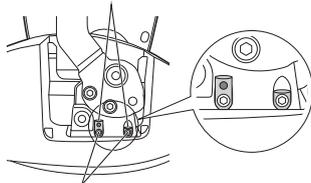


設置・接続のしかた (つづき)

3. ピン固定ねじ2本を外してメカニズム端点のピンを外す

据え置き設置でのピンの位置

メカニズム端点のピン

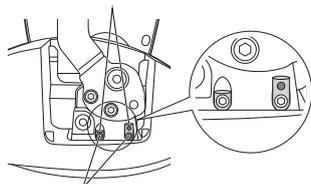


ピン固定ねじ (M2六角穴付き)

4. メカニズム端点のピンの左右の位置を入れ替えてピン固定ねじで再度取り付ける

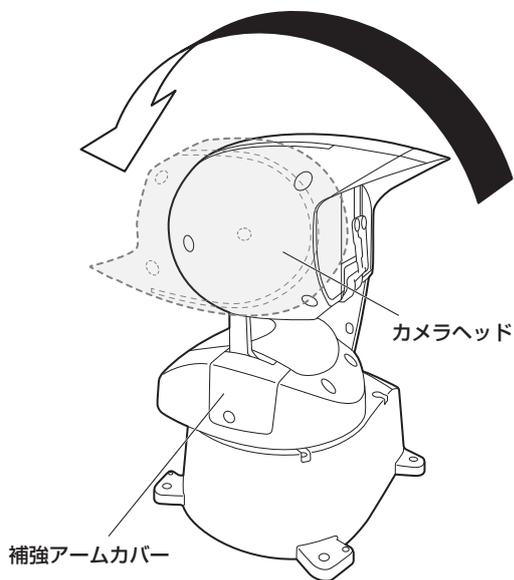
吊り下げ設置でのピンの位置

メカニズム端点のピン



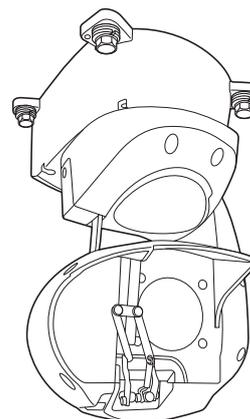
ピン固定ねじ (M2六角穴付き)

5. カメラヘッドを矢印の方向に180度回転させてカメラヘッドの天地を逆にし、補強アームカバーをボディに取り付ける



6. 本機を吊り下げて設置する

設置の手順は、前述の「設置面を工事する」(→8ページ)～「吊り下げ設置する場合」(→10ページ)を参照ください。



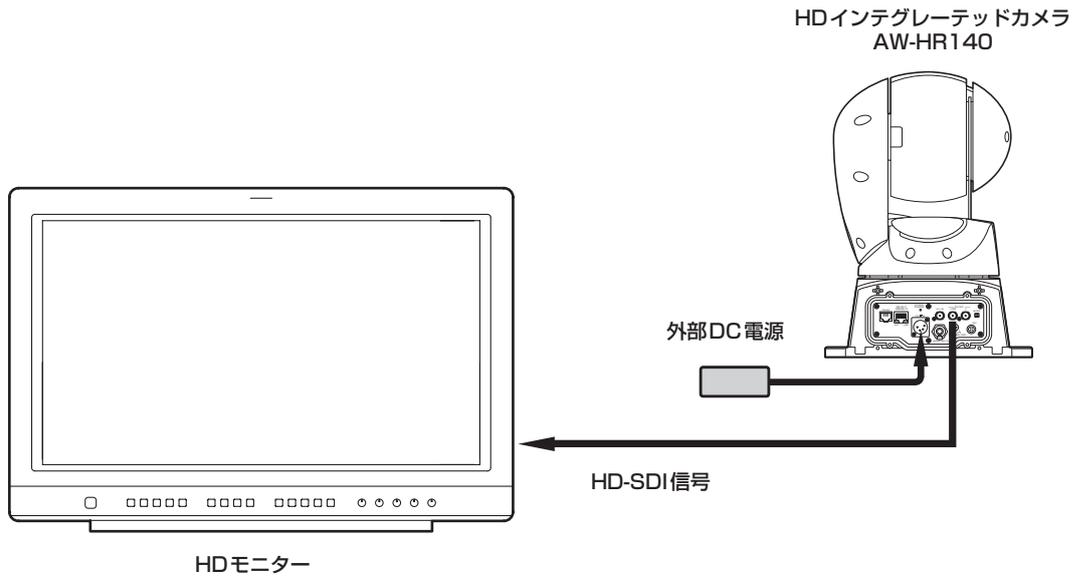
- 回転範囲が180度切り替わり、吊り下げ設置の状態で、左右175度の回転が可能になります。
- 据え置き設置の状態に戻す場合は、逆の手順で作業を行い、メカニズム端点のピンの左右の位置を入れ替えてください。

〈NOTE〉

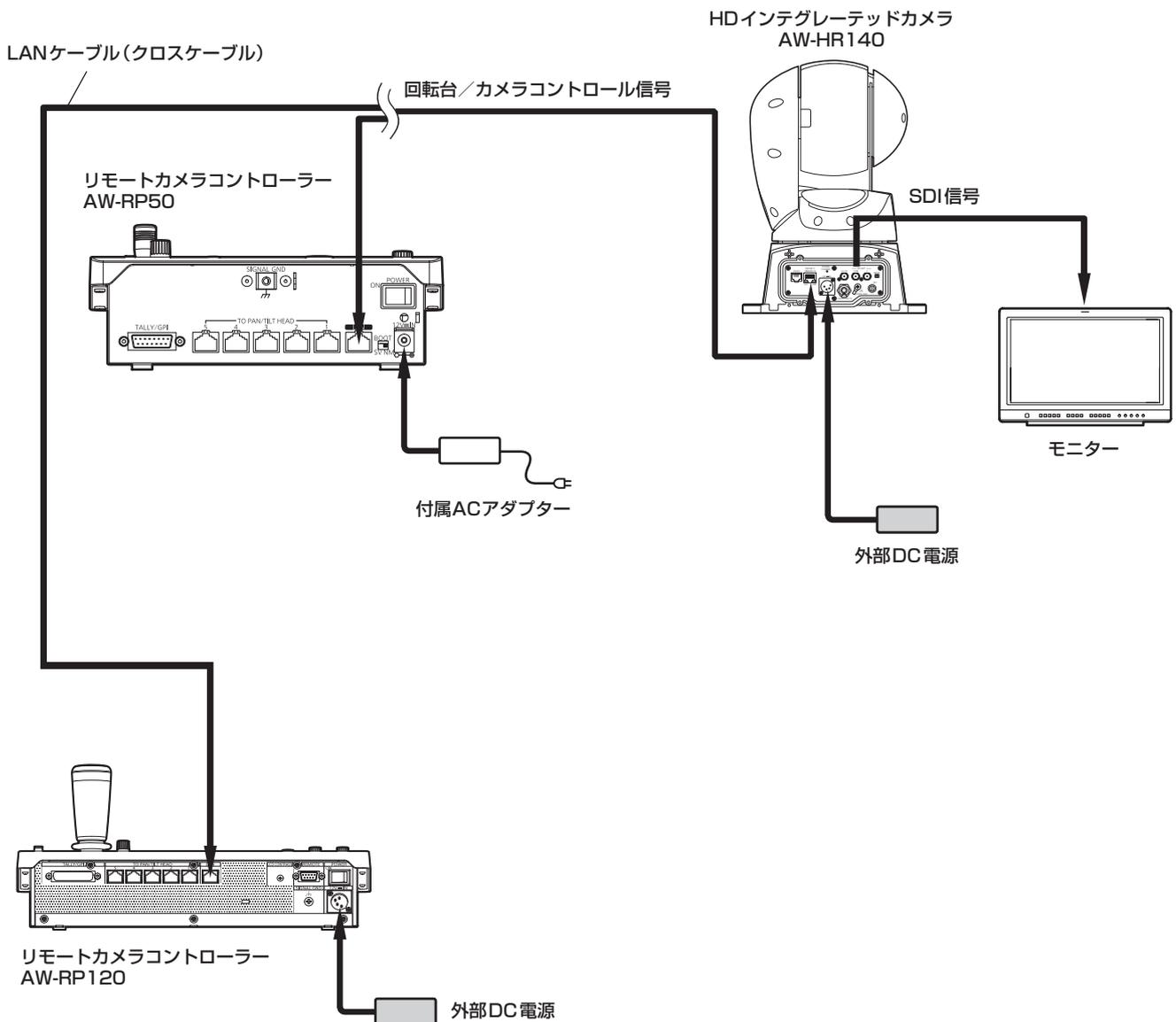
- 工場出荷時は、据え置き設置用の設定になっています。吊り下げ設置で使用する場合は、以下の操作を行ってください。
 - 1) メカニズム端点のピンの変更
 - 2) カメラメニューにて [Install Position] を [Hanging] に変更 (→PDF 48ページ、80ページ)
 - 3) 本機の再起動 (本機への電源供給を断った後、再度供給し直してください。)
 吊り下げ設置から据え置き設置に戻す場合も、同様の手順で据え置き設置用に変更してください。
- [Install Position] の設定が正しくない場合は、可動範囲端に接触し、故障の原因になります。

接続

HDモニターとの接続

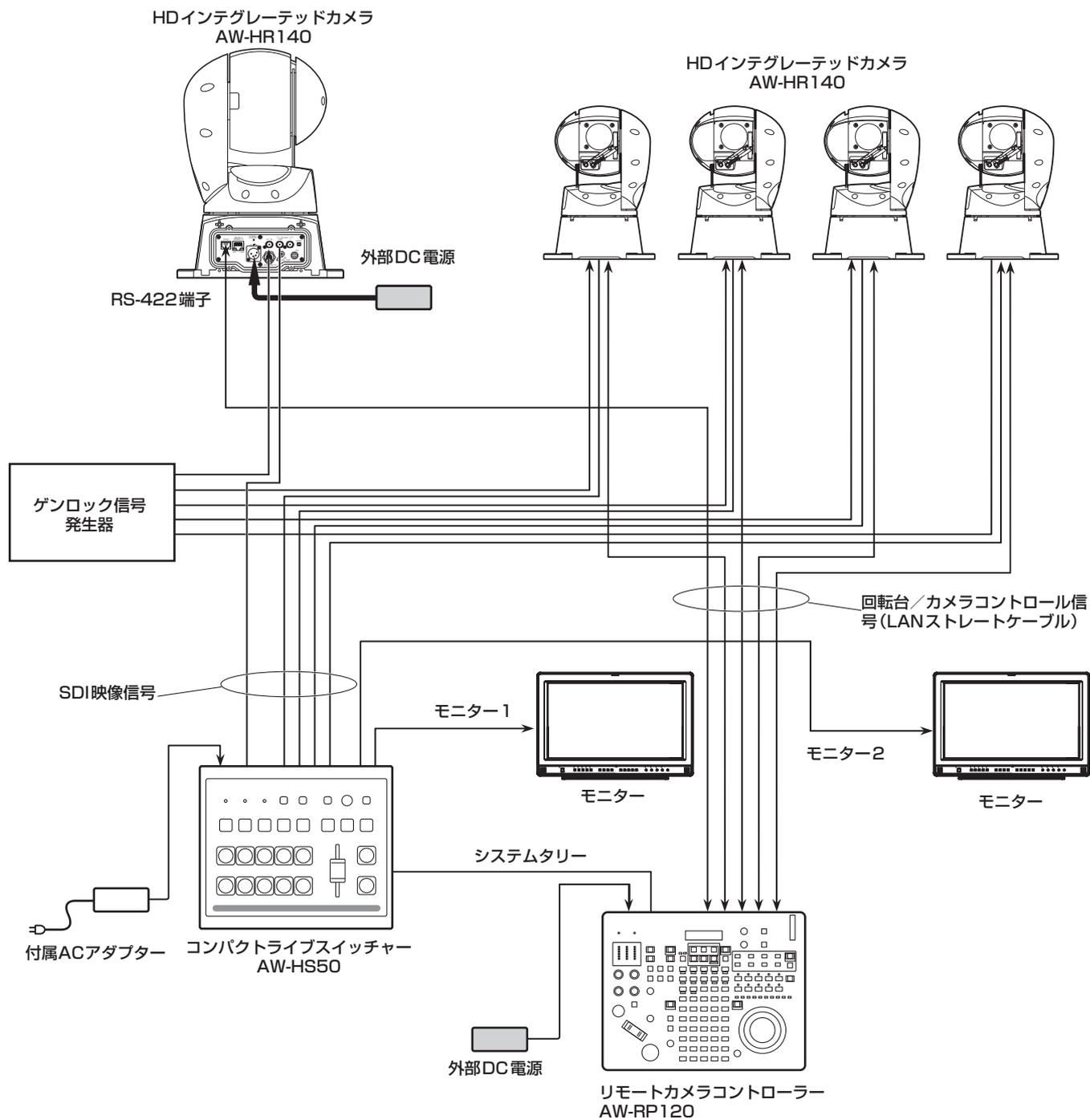


コントローラー (AW-RP50/AW-RP120/AK-HRP200のいずれか) との接続

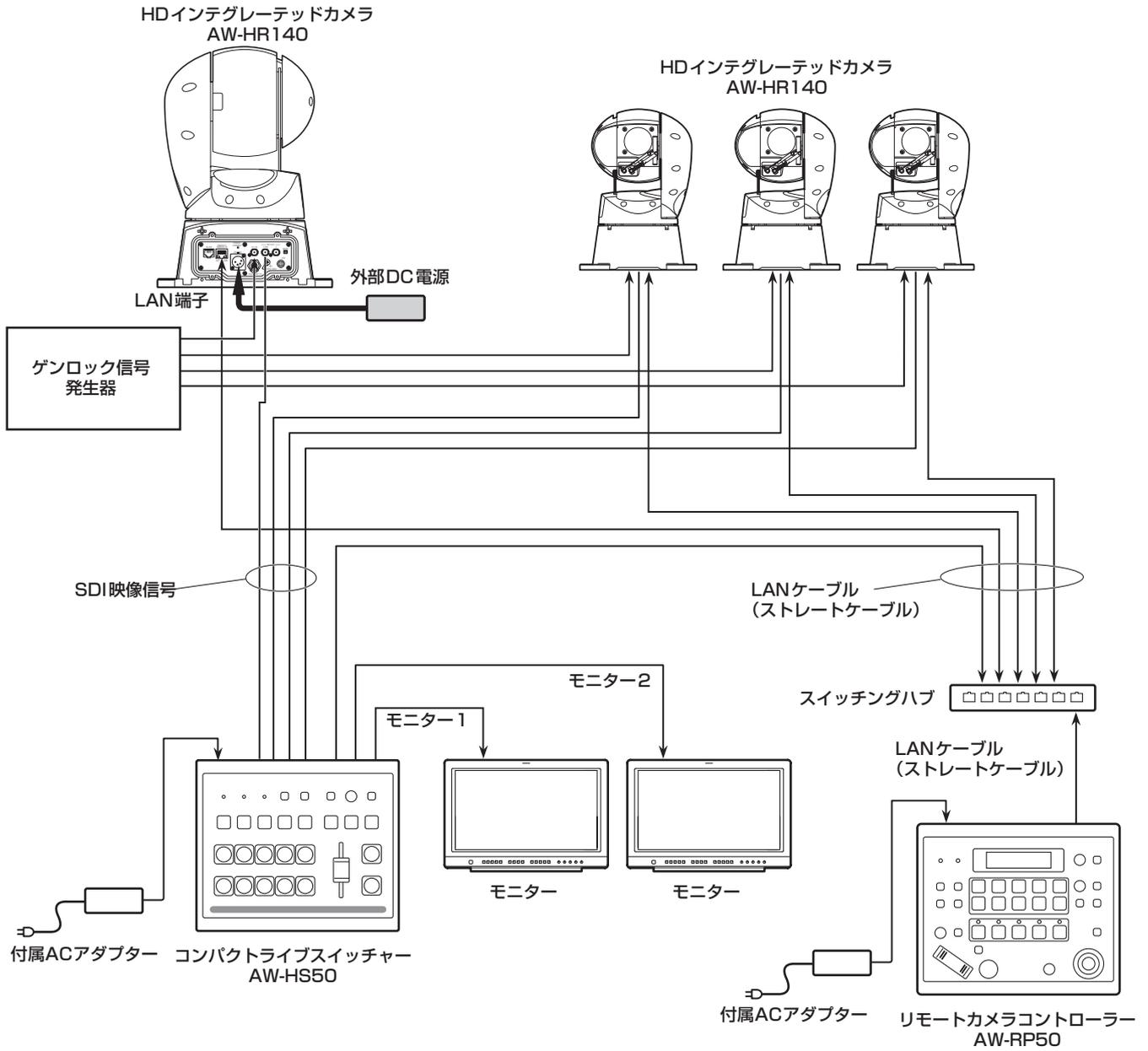


接続 (つづき)

システム例1 (シリアル制御)

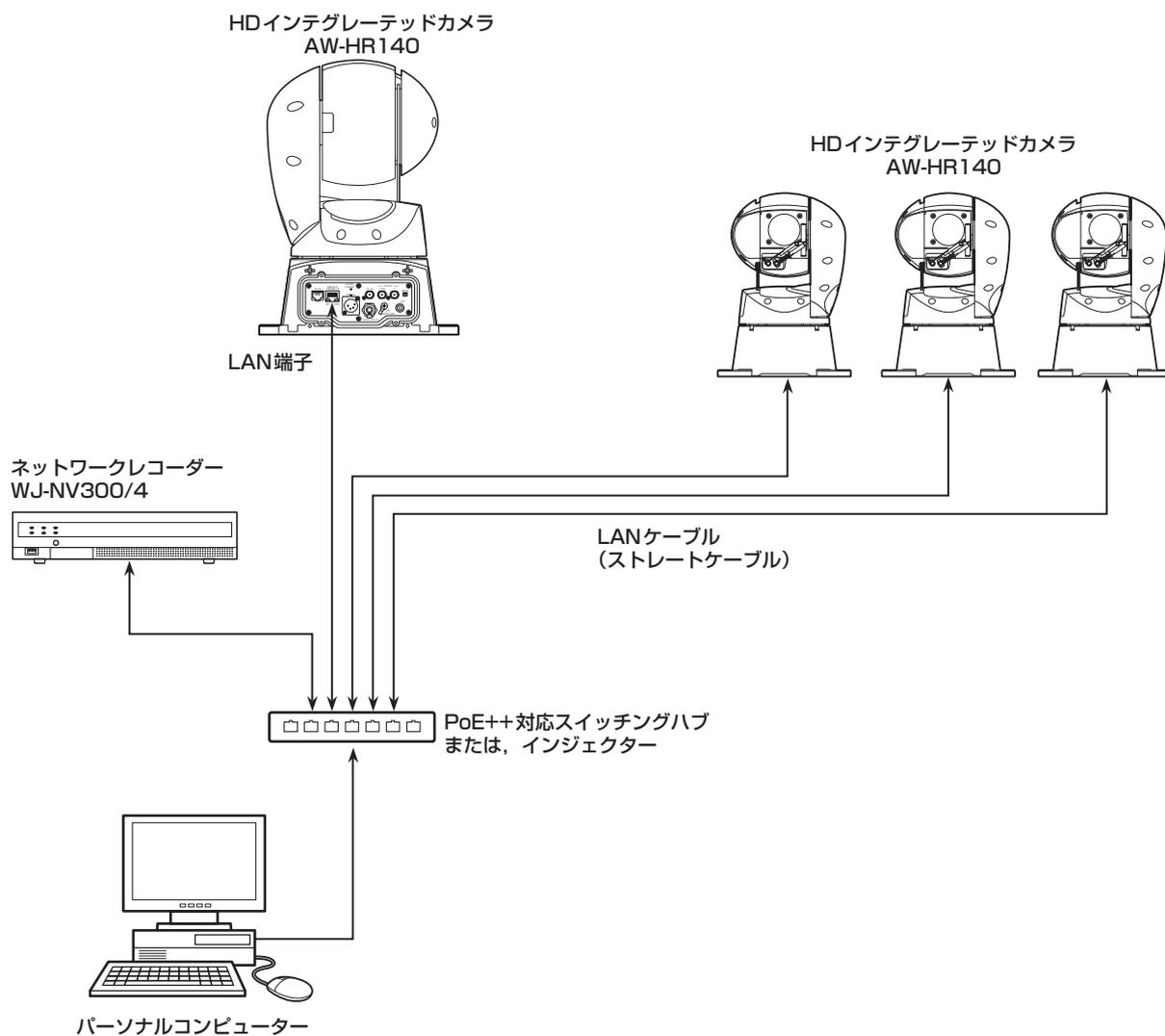


システム例2 (IP制御)

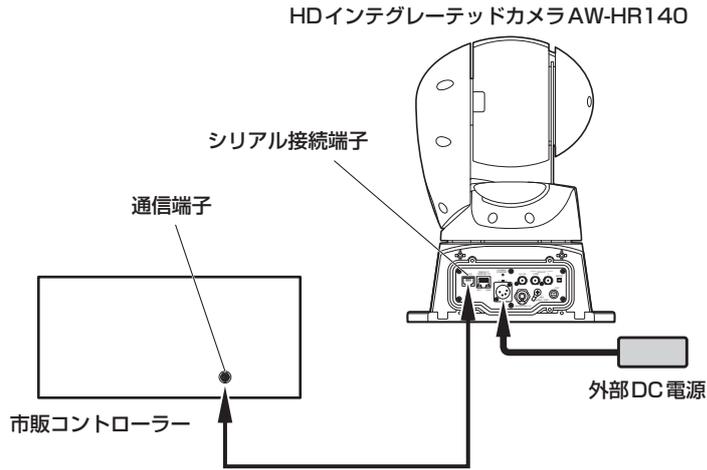


接続 (つづき)

システム例3 (IP映像伝送、PoE++)



システム例4 (市販コントローラーとの接続)



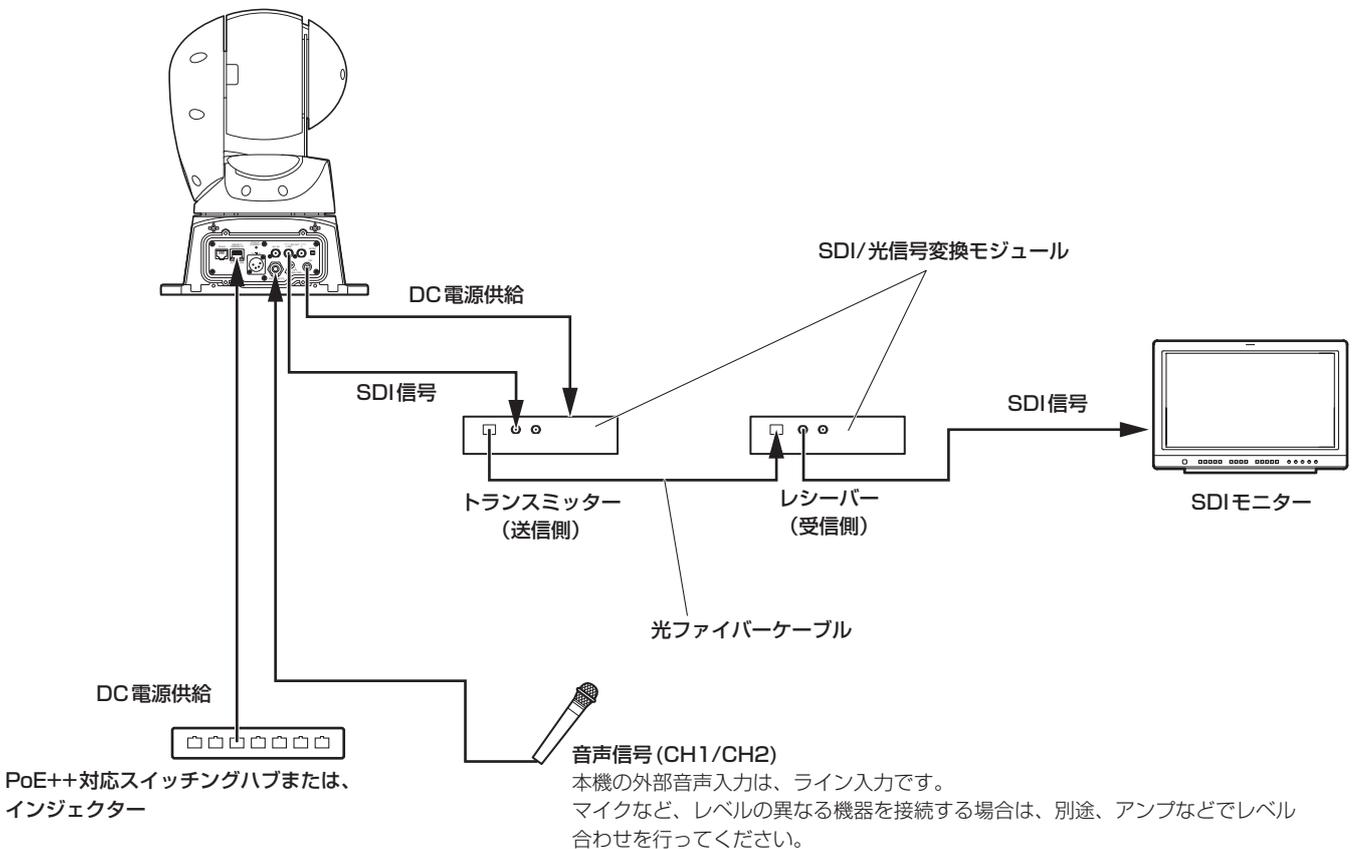
- 本機背面のMODEスイッチを設定してください。
MODEスイッチの詳細については、「MODEスイッチの設定」(→8ページ)を参照してください。
- カメラメニューで次の項目を設定してください。
 1. [System] メニュー - [Protocol] - [Model Select] を表示する
 2. プロトコルの種別を[SEVIHD1]、[SBRC300]、もしくは[SBRCZ330]から選択する

〈NOTE〉

- 本機には、複数台をダイジーチェーン接続する機能はございません。

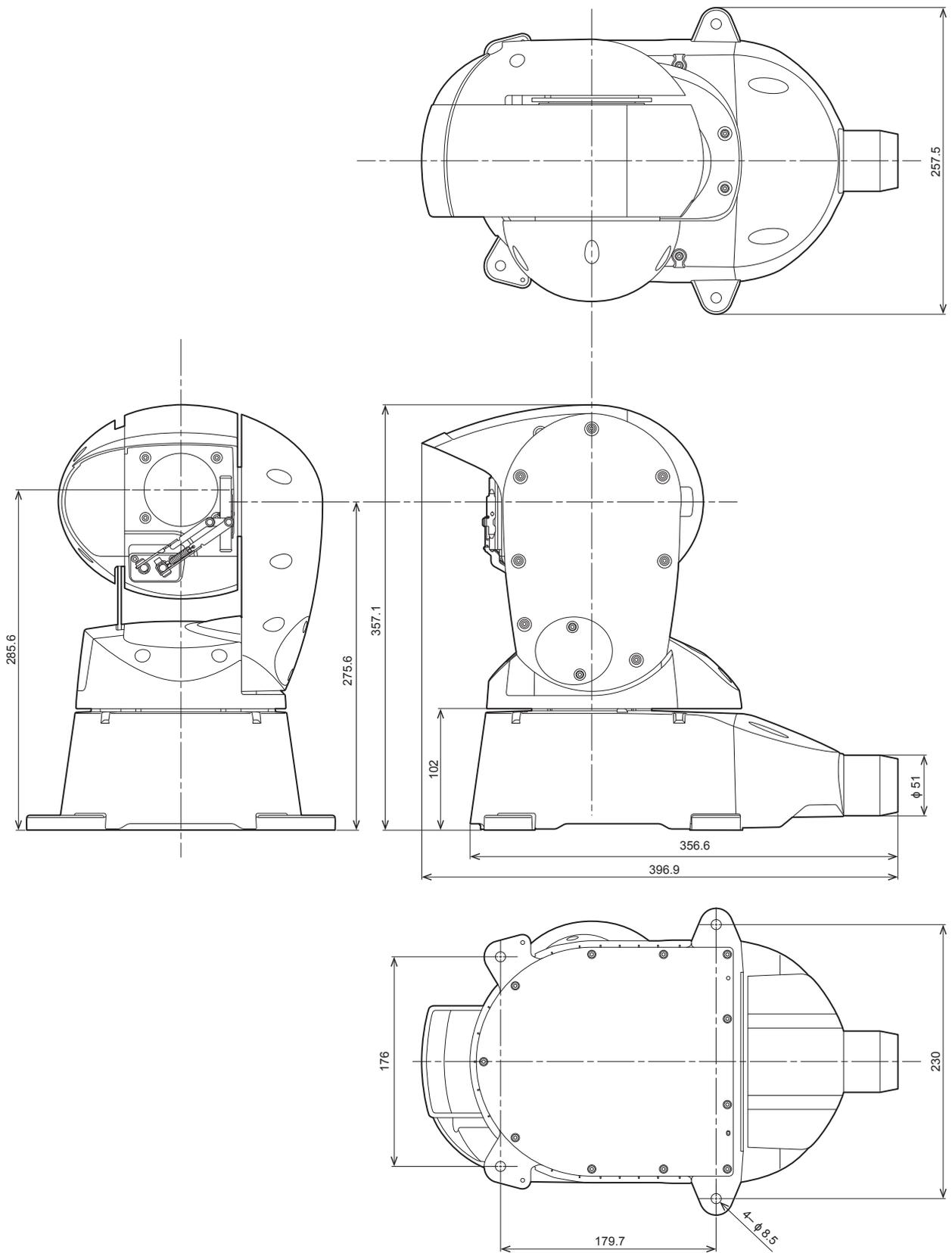
システム例5 (PoE++を使用した光ファイバシステム/オーディオ接続)

HDインテグレートッドカメラAW-HR140



外形寸法図

単位：mm



安全上のご注意 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

   	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

 **警告**

カメラは…

 電源プラグ を抜く	<p>■ 異常があったときは、外部DC電源の電源プラグおよびPoE++給電のLANケーブルを抜く 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき (そのまま使うと、火災・感電の原因になります。) ⇒ 外部DC電源を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 ⇒ 販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 回転動作中は本体部に手を触れない (回転部に指をとられ、けがの原因になります。)</p> <p>■ ぶら下がらない、足場代わりにしない (落下などの事故の原因になります。)</p> <p>■ 可燃性ガスの雰囲気中使用しない (爆発によるけがの原因となります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部や外部DC電源などの電源プラグに触れない (落雷すると、感電につながります。)</p> <p>■ デフロスターを使用したときは、ガラス面とそのねじに手を触れない (ガラス面を暖めるため高温になり、やけどをするおそれがあります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</p>
	<p>■ 工事は販売店に依頼する (工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。) ⇒ 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。</p> <p>■ 付属品・オプションは指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。)</p> <p>■ 使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください ⇒ 販売店にご相談ください。</p> <p>■ 地震後は必ず点検する (本体取付部が損傷し、落下の原因となります。) ⇒ 必ず販売店に依頼してください。</p>

安全上のご注意 (必ずお守りください。) (つづき)


警告 (つづき)
外部DC電源、PoE++は…

	<p>■ DCコネクタ・プラグ、LANケーブルを破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (感電・火災の原因になります。) ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に設置しない (落下や転倒によるけがや事故の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電・火災の原因になります。)</p>
	<p>■ DCコネクタ、LANケーブルは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。</p> <p>■ 外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒ 詳しくは、29ページを参照してください。 ⇒ 外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒ 外部DC電源は、電気用品安全法のマークの付いたものをご使用ください。</p> <p>■ DCコネクタのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒ DCコネクタを抜き、乾いた布でふいてください。</p>

小さな付属品は…

	<p>■ 本体取付ねじ、金具取付ねじ、落下防止ワイヤー取付ねじは乳幼児の手に届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
---	---

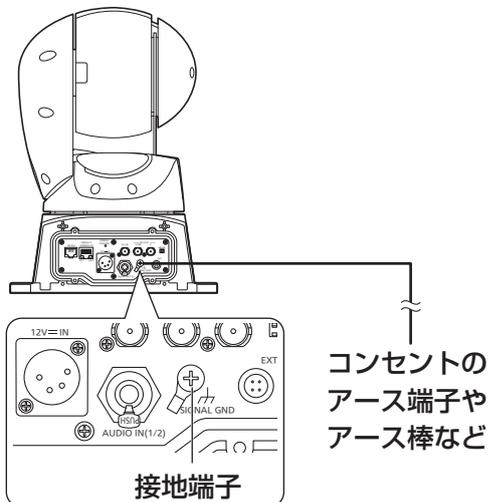
⚠ 注意

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [密閉された箱など、狭いところに入れない、ビニールシートを掛けない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ ふみ台や腰掛けにしない (けがの原因となります。)</p>
	<p>■ 金属のエッジで手をこすらない (強くこするとけがの原因となります。)</p>
	<p>■ 無理な力を加えない (取付部が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。)</p>
	<p>■ DCコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因になります。)</p>
	<p>■ ケーブルなどは引っ張らない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 定期的に点検する (金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。) ⇒ 点検は販売店にご依頼ください。</p>
	<p>■ 病院内では、病院の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)</p>
 電源プラグ を抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源の電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検(1年に1回をめやすに)をお願いします。

接地に関するご注意

- 本体の接地端子<SIGNAL GND>から接地を行ってください。



はじめに

概要

- 本製品は、新開発の1/2.86型フルHD 3MOSセンサーとデジタルシグナルプロセッサ(DSP)を採用した、屋外対応の回転台一体型フルHDカメラです。
- 光学20倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備えており、水平解像度1000本の高画質で臨場感あふれる撮影が可能です。また、高感度で、画揺れ補正やナイトモードの機能を備え、幅広い環境下での撮影が可能です。
- コントローラーを接続すると、IP制御またはシリアル制御によるスムーズなカメラ操作が可能です。
- ナイトモードを備え、低照度下においても被写体に赤外線を照射することで撮影が可能です。
- パーソナルコンピューターと本機をIPネットワーク経由で接続することで、Web画面から本機を操作することができます。
- 新開発のコーデックエンジン搭載により、ネットワーク経由で、FullHD画質で最大毎秒60フレームの出力ができます。
- 標準シリアル通信方式に対応しており、市販のコントローラーとの接続が可能です。
- Panasonic 独自のシリアル通信により、Panasonic 製のカメラのコントローラーとの接続が可能です。
- 屋外撮影環境に必要な不可欠な各種機能を標準で装備しています。

- | | |
|------------------------|------------|
| • インテリジェント機能
(自動調整) | • デフロスター |
| • ワイパー | • 防振補正機能 |
| • ヒーター | • 霧除去機能 |
| | • ウォッシャー制御 |

必要なパーソナルコンピューターの環境

CPU	Intel® Core™2 DUO 2.4 GHz以上 推奨
メモリー	【Windowsの場合】 1 GB以上 (ただし、Microsoft® Windows® 10 / Microsoft® Windows® 8.1 / Microsoft® Windows® 8 / Microsoft® Windows® 7の64ビットの場合は、2 GB以上) 【Macの場合】 2 GB以上
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX 1ポート
画像表示機能	解像度：1024×768ピクセル以上、 発色：True Color 24ビット以上
対応OSと Webブラウザ	【Windows】 Microsoft® Windows® 10 Pro 64ビット / 32ビット *1 Windows® Internet Explorer® 11.0 *1*3 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット / 32ビット *1 Windows® Internet Explorer® 11.0 *1*3 Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット / 32ビット *1 Windows® Internet Explorer® 10.0 *1*3 Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット / 32ビット *2 Windows® Internet Explorer® 11.0 / 10.0 / 9.0 / 8.0 *3
	【Mac】 OS X 10.11 Safari 9.0 OS X 10.10 Safari 8.0.4 OS X 10.9 Safari 7.0.2 OS X 10.8 Safari 6.1.2
	【iPhone / iPad / iPod touch】 iOS 標準Webブラウザ
	【Android】 Android OS 標準Webブラウザ
その他	Adobe® Reader® (Webサイトに掲載されている取扱説明書を閲覧するため)

*1 デスクトップ用Internet Explorerでご利用ください。(Modern UIのInternet Explorerには対応していません)

*2 Windows® XP 互換モードでは使用できません。

*3 Internet Explorer® 64ビット版では使用できません。

はじめに (つづき)

重要

- 必要なパーソナルコンピューター的环境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、Web ブラウザーが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。

〈NOTE〉

- 本体ソフトのバージョンによっては、アップデートが必要になります。
- デスクトップ用 Internet Explorer でご利用ください。(Modern UI の Internet Explorer には対応していません)
- 対応 OS と Web ブラウザーに関する最新情報については、下記の Web サイトのサポートデスクをご覧ください。
日本語 : https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
英語 : <https://pro-av.panasonic.net/en/>

免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥お客様による撮影映像(記録を含む)が何らかの理由により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ずすべての Web ブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 公衆回線を利用した接続はしない。

〈NOTE〉**ユーザー認証について**

- 本機では、ユーザー認証機能はダイジェスト認証またはベーシック認証を使用しています。認証機能を有した専用機を用いないでベーシック認証を使用した場合、パスワードが漏えいする危険性があります。ダイジェスト認証を使用するか、ホスト認証を使用することを推奨します。

使用時の制約事項

- 本機とコントローラーもしくはパーソナルコンピューターを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

特 長

■ マルチフォーマットに対応

- 以下の複数のフォーマットをカメラメニューまたはWeb操作で切り替えが可能です。

【対応フォーマット】

1080/59.94p、1080/29.97p*¹、1080/23.98p*²、
1080/59.94i、1080/29.97PsF*³、1080/23.98PsF*³、
720/59.94p、1080/50p、1080/25p*¹、1080/50i、
1080/25PsF*³、720/50p

*¹ Native出力

*² Over59.94i出力

*³ 1080/25PsFは、モニター画面に50iが表示される場合があります。また、1080/23.98PsFと29.97PsFは、モニター画面に59.94iが表示される場合があります。

■ 1/2.86型MOSセンサー・高性能20倍ズームレンズを採用

- 新開発の1/2.86型フルHD 3MOSセンサーとDSP (Digital Signal Processor) を搭載。多彩な映像処理で、高画質な映像が得られます。
- 光学20倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備え、高画質で臨場感あふれる映像が得られます。
- 白とびや黒つぶれを補正するダイナミックレンジストレッチャー (DRS)、暗い場所でも残像を抑えてクリアに撮影するデジタルノイズリダクション (DNR) を搭載し、幅広い用途で鮮明な映像を再現します。

■ 高性能回転台との一体型で快適操作

- 60°/sの高速動作。
- パン範囲：±175°、チルト範囲：-30°～210°の広い旋回角度。
- 最大100ポジションのプリセットメモリーが可能。
(コントローラーによって、使用できるプリセットメモリー数は異なります。)

■ ナイトモードを搭載

- 赤外線撮影に対応しています。
通常では撮影が困難な低照度下においても、被写体に赤外線を照射することで、撮影が可能となります。
(映像出力は白黒画像となります。)
- IRISは開放固定となります。

■ IP映像出力機能を搭載

- 画像圧縮、IP伝送LSIを搭載。FullHD画質で、最大毎秒60フレームの出力ができます。
- IPコントロールと共に用いることで、遠隔地からのカメラ制御など、幅広い用途での使用が可能となります。

■ 標準シリアル通信方式に対応

- 市販のコントローラーにRS-422で接続できます。

【NOTE】

- 標準シリアル通信方式では、屋外機能に関する制御をコントローラーで直接制御することができません。
カメラメニューを設定して制御してください。

■ 現行の当社製コントローラーとの高い親和性で、フレキシブルなシステム構築を実現

- 現行の当社製コントローラー (AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200) からシリアル制御で最大5台までの本機の操作が可能。
現行の当社製カメラや回転台システムとの併用も可能で、既存システムを活用した柔軟なシステム構築が行えます。

【NOTE】

- コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
本機とコントローラー間の最大距離は1000mです。(シリアル制御時)

映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です。

■ 屋外ハウジング・回転台・カメラ・レンズ一体型で、システム構築が容易

- 屋外対応ハウジング・カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、簡単にシステム構築が行えます。

■ かんたん接続で柔軟なカメラレイアウト

- IP制御で優れた接続性を実現しました。

【NOTE】

- 本機は、屋外に対応した据え置き機器です。
車載での使用はできませんのでご注意ください。

■ 屋内専用モデルから機能アップを実現

- 実績のある屋内専用モデル (AW-HE130) の機能に加えて、屋外での撮影に必要な機能を充実させました。

■ IPコントロールによる簡単接続・設定

- 当社製コントローラー (AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200) からIP接続により、最大100台までの本機の操作が可能です。
(LANケーブルの最大長は、100mまでです。)

■ PoE++*⁴ 搭載によりカメラ電源工事が不要

- PoE++規格対応のネットワーク機器 (IEEE802.3bt Draft ver.2.0準拠)*⁵ に接続することによって、カメラ電源工事が不要となります。

【NOTE】

- ソフト認証の必要なPoE++給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまでの時間が数分かかる場合があります。
- 外部DC電源とPoE++給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像が切れます。
- PoE++給電に使用するケーブルは、カテゴリ5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100mです。カテゴリ5以下のケーブルをご使用されますと給電能力が低下するおそれがあります。
- ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターとPoE++インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロスLANケーブルで接続 (クロス接続) してください。

*⁴ Power over Ethernet Plus Plusの略です。以降「PoE++」と表記いたします。

*⁵ 動作確認済みのPoE++給電装置については、販売店もしくは当社のサービス窓口にお尋ねください。

対応コントローラー

- AW-RP50
- AW-RP120
- AK-HRP200

- ・コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。
アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

〈NOTE〉

- ・以下の現行コントローラーについては、コントローラーからの動作ができません。

項目	AW-RP555	AW-RP655
カメラOSDメニュー操作	使用可能	使用可能
Scene	使用可能*1 (1/2/3/USER)	使用可能 (HALOGEN/FLUORESCENT/OUTDOOR/USER)
Iris Mode	使用可能	使用可能
Shutter Mode	制限付きで使用可能*2 (Stepのみ)	使用不可
Gain	使用可能*1	制限付きで使用可能*3
ND Filter	使用不可	使用不可
Day/Night	制限付きで使用可能*4	制限付きで使用可能*4
White Balance Mode	使用可能*1 (AWB A/AWB B/ATWのみ)	使用可能 (AWB A/AWB B/ATWのみ)
AWB/ABB	使用可能	使用可能
Color Temperature	使用不可	使用不可
R Gain / B Gain	使用不可	使用可能
Pedestal	使用不可	使用可能
R Pedestal / B Pedestal	使用不可	制限付きで使用可能*5
Detail	使用不可	使用不可
V Detail Level	使用不可	使用不可
CAM/BAR	使用可能*1	使用可能
Pan	使用可能	使用可能
Tilt	使用可能	使用可能
Preset	使用可能	使用可能
Preset Speed	使用不可	使用不可
Preset Speed Table	使用不可	使用不可
Preset Scope	使用不可	使用不可
Freeze During Preset	使用不可	使用不可
Focus Mode	制限付きで使用可能*4	制限付きで使用可能*4
Zoom	使用可能	使用可能
Digital Extender	使用不可	使用不可
OIS/D.I.S.S.	使用不可	使用不可
Tally	制限付きで使用可能*6	制限付きで使用可能*6

*1 他の機器で設定値が変更された場合、設定値の反映が遅くなる場合があります。

*2 設定後にShutter ModeをOFF/ONしないと値が切り替わりません。

*3 Gainが19(dB)以上のときの動作が不正になります。

*4 他の機器で設定値が変更された場合、設定値が反映されません。(自機器で設定した場合は反映されます。)

*5 値の表示範囲が不正(-150~+150)となります。

*6 本機にはタリールンプがありませんが、「OSD Off With Tally」機能を使用することができます。

■ 標準プロトコルでは制御できない機能

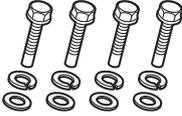
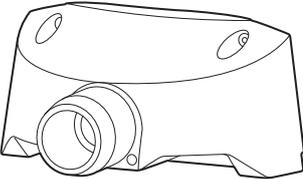
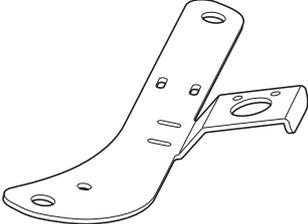
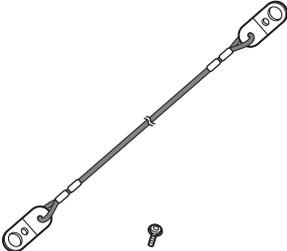
以下の項目の操作は、標準プロトコルでの制御ができません。

項目	標準プロトコル非対応
Heater	制御不可
Wiper	制御不可
Defroster	制御不可
Washer	制御不可
OIS/D.I.S.S.	設定不可
Audio	設定不可
DC Out	制御不可
Tally	本機には、表示機能がありません。

付属品

付属品をご確認ください。

- 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

<p>六角ボルト M8 × 30 mm (4) ワッシャーM8 (4) スプリングワッシャーM8 (4)</p> 	<p>ケーブルカバー (1)</p> 	<p>ウォッシャーノズル取付金具 (1)</p> 	<p>落下防止ワイヤー (1) 落下防止ワイヤー固定用ねじ (六角穴付き、本体用) M4 × 10 mm (1)</p> 
--	--	---	--

使用上のお願い

■ 油煙やほこりの多い場所では、本機を使わないでください

微粒子などが製品内部に入ると、性能が劣化するおそれがあります。特に舞台演出用のスモークなどを使用した環境では、お気をつけください。

■ 撮影は適正な照明で

美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

■ 長時間安定した性能でお使いいただくために

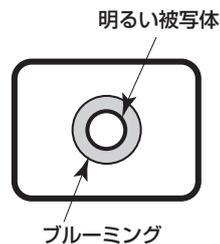
高温・多湿の場所で長時間使用した場合は、部品の劣化により寿命が短くなります。

(推奨温度35℃以下)

設置場所の冷房および暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

■ 強い光にカメラを向けないでください

MOSセンサーの一部にスポット光のような強い光が当たると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)を生じることがあります。



■ 高輝度の被写体では

きわめて明るい光源がレンズに向けられていると、フレアが生じることがあります。その場合は、アングルを変えるなどしてください。

■ オート機能使用のときは

- ・カメラメニューなどの「Scene」では、一部の項目で初期設定がオートとなっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行う場合は、必要に応じてオート設定からマニュアル設定に切り替えてください。
- ・場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。

■ ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。

ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

フォーカスをマニュアル設定で使用する際は、フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス位置を合わせてからズーミングしてください。(ただし、被写体までの距離が1.5mよりも近い場合には、ワイド端でフォーカスがずれることがあります。)

ワイド端でフォーカス調整を行った後にテレ端にズーミングすると、フォーカスがずれる場合があります。

■ 電源を入れたときのPan/Tilt動作やレンズの動作について

本機の電源を入れたとき、Pan/Tiltのメカニズム、レンズのズーム、フォーカス、アイリスが自動的に調整動作を行います。

■ 本機にはセーフモード機能があります

セーフモードは、本機の損傷を防止するための機能です。詳細については「セーフモードについて」(→PDF 108ページ)を参照してください。

■ 使用温度範囲は

-15℃を下回る寒い所や45℃を超える暑い所での動作は、画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、避けてください。

■ カラーバーについて

- ・カラーバーは色位相調整用であり、バーの幅や位置が他機種と異なる場合があります。

■ IP映像更新速度について

IP映像更新速度は、ご利用のネットワーク環境、パーソナルコンピュータまたは携帯端末の性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

■ H.264特許プールライセンスについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること
- 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること

詳細についてはMPEG LA, LLCのWebサイト(<http://mpegla.com>)を参照してください。

■ PoE++給電について

本機は、IEEE802.3bt Draft ver.2.0に準拠しています。PoE++給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターをご使用ください。

動作確認済みイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切って

本機に電源スイッチはありません。

ケーブルを抜き差しする場合には、DC電源、あるいはPoE++給電装置の電源をOFFにしてください。

■ 取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

■ 使用しない場合は

使用しないときは電源を切ってください。

使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

■ 光学系部には触れないで

光学系部はカメラの“命”です。

光学系には絶対に触れないでください。

万一、ホコリがついた場合は、カメラ用のプロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

デフロスターを使用したときは、ガラス面とそのねじに手を触れないでください。

ガラス面を暖めるため、高温になっています。

■ 太陽光に向けない、レーザー光に向けない

太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、撮像素子を傷める原因となります。

■ 使用するパーソナルコンピュータについて

パーソナルコンピュータのモニター上に長時間同じ画像を表示すると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

■ IPアドレスの設定について

1台のカメラに対して、複数のパーソナルコンピュータ上のIP簡単設定ソフトウェアを操作して、同時にIPアドレスを設定しないでください。

IPアドレスの設定がわからなくなる原因となります。

使用上のお願い（つづき）

■ 回転部に異物の混入がないようにしてください

故障の原因になります。

■ カメラヘッド可動部に近づかない

本機動作中に指や身体を近づけないでください。けがや故障の原因となります。

また、パンやチルト操作時に本機が人や障害物に衝突すると、セーフモードになります。

詳細は、PDFの108ページを参照してください。

■ カメラヘッドについて

レンズ部のひさしに雪・水・ホコリなどが溜まる恐れがあります。定期的にカメラヘッドを動かして、雪・水・ホコリなどが溜まらないようにしてください。

■ お手入れは

お手入れは、電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。

乾いた柔らかい布でふいてください。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ボディが変色することがあります。

■ カメラヘッド部分を手で回さないで

カメラヘッド部分を手で回すと、故障の原因になります。

■ 湿気、ホコリの少ない所で

湿気、ホコリの多い所は、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

■ 除湿素子について

本機は、カメラ内部を低湿度に保つため除湿素子を内蔵しています。温度、湿度、天候などの条件によっては結露が発生し、除湿に時間が掛かることがあります。

■ 前面ガラスのクリーニングについて

前面ガラスが汚れた場合は、レンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃に使うもの）などで汚れを落としてください。このとき、砂ぼこり等が付着していると、前面ガラスに傷がつくことがあります。汚れがひどい場合には、水洗いすることをお勧めします。

デフロスターを使用したときは、ガラス面とそのねじに手を触れないでください。

ガラス面を暖めるため、高温になっています。

■ レンズ／回転台について

レンズやパン・チルト回転台などは、長期間操作しないと内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。レンズやパン・チルト回転台は、定期的に動かしてください。

■ 消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境や使用条件により変わります。寿命時間は、35℃にて使用した場合の目安です。

・冷却ファン：約20000時間

・ワイパー：約12万回の動作、交換の目安：約2年

・ワイパーゴム：平均5000時間の動作、交換の目安：約2年
交換が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

本製品には、GNU General Public License(GPL)、ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本製品には、The BSD Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ソースコードの入手については、下記のWebサイトをご覧ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

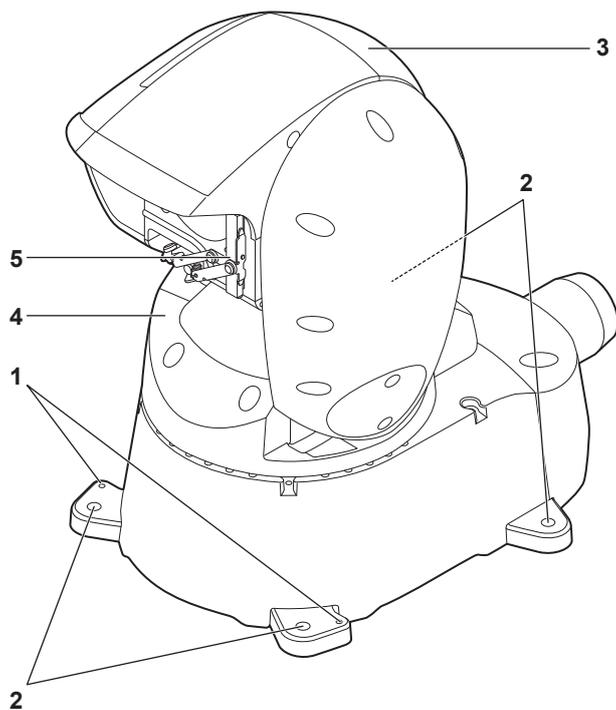
なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

個人情報の保護について

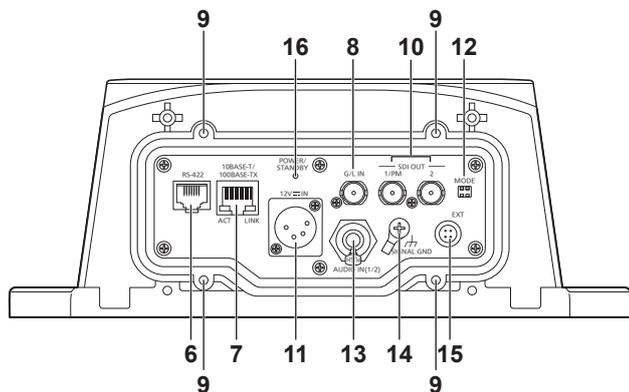
システムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

*経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

各部の名前とはたらき



背面パネル



1.落下防止ワイヤー取り付け穴

落下防止ワイヤーを付属ねじを使って固定します。

2.カメラ台座部固定用穴

カメラ台座部に4か所あります。

3.カメラヘッド部

上下方向に回転します。

4.パンヘッド部

左右方向に回転します。

5.ワイパー

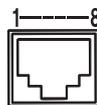
左右に移動してレンズ部をクリアにします。

6.RS-422端子<RS-422>

外部機器から本機をシリアル制御する際に接続するRS-422端子(RJ45)です。接続には、以下のケーブルを使用してください。

LANケーブル*1(カテゴリー5以上、ストレートケーブル)最大1000 m

*1 STP (Shielded Twisted Pair) を推奨



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GND	5	TXD+
2	TALLY	6	RXD+
3	RXD-	7	—
4	TXD-	8	—

〈NOTE〉

- 本機にはタリールンプがありませんが、ピン1 (GND) とピン2 (TALLY 信号) をショートすると「OSD Off With Tally」機能を使用することができます。
- 接点入力のため、ピン2 (TALLY 信号) には電圧を加えないでください。

7.IP制御用LAN端子<LINK / ACT>

外部機器から本機をIP制御する際に接続するLAN端子(RJ45)です。接続には、以下のケーブルを使用してください。

PoE++イサーネットハブありの場合

LANケーブル*1(カテゴリー5e以上、ストレートケーブル)最大100 m

PoE++イサーネットハブなしの場合

LANケーブル*1(カテゴリー5以上、ストレートケーブル)最大100 m

*1 STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

〈NOTE〉

- イサーネットハブを介さずにコントローラーと直接接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。

8.G/L IN端子<G/L IN>

外部同期信号の入力端子です。

設定した映像フォーマットに適した信号を入力してください。

Format	外部同期信号入力フォーマット	
	BBS	3値同期
1080/59.94p	480/59.94i	1080/59.94i
1080/29.97p	480/59.94i	—
1080/23.98p	480/59.94i	1080/59.94i
1080/59.94i	480/59.94i	1080/59.94i
1080/29.97PsF	480/59.94i	1080/59.94i
1080/23.98PsF	—	1080/23.98PsF
720/59.94p	480/59.94i	720/59.94p
1080/50p	576/50i	1080/50i
1080/25p	576/50i	—
1080/50i	576/50i	1080/50i
1080/25PsF	576/50i	1080/50i
720/50p	576/50i	720/50p

〈NOTE〉

- BBSでは、サブキャリアにはロックしません。

9.ケーブルカバー固定用ねじ穴

ケーブルカバーをねじで固定します。

10.SDI OUT端子<SDI OUT 1/PM、SDI OUT 2>

SDI映像信号の出力端子です。

- SDI OUT 1/PM端子からはOSD出力が可能で、カメラメニューやステータスをモニターに表示することができます。

各部の名前とはたらき (つづき)

11. DC IN端子<12V IN>(XLRコネクター)

DC 10.8 V(12 V - 10%) ~ 24 V(21.8 V + 10%)を入力してください。

(NOTE)

- DCコードは、以下の長さのコードを使用してください。
12 V入力時：最長3 m(AWG16コード使用時)
21.8 V入力時：最長20 m(AWG16コード使用時)

12V IN	
	1 GND
	2 —
	3 —
	4 +12V
HA16RA-4P (77) ヒロセ電機製	

■ 外部DC電源について
外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。
外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。
接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。
総消費電力÷電圧
本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器(レンズ、ワイヤレスマイクレシーバーなど)の、総消費電力の2倍以上の電力を確保できる、外部DC電源のご使用をお勧めします。

- 外部DC電源のDC出力端子と、本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。
誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

12. MODEスイッチ<MODE>

スイッチのポジション	機能
1 	AWシリーズプロトコル設定(出荷時の設定)
2 	標準プロトコル設定(Baud Rate 38400 bps)
3 	標準プロトコル設定(Baud Rate 9600 bps)
4 	メンテナンス用のポジションになります。このポジションでは、使用しないでください。

13. 音声入力端子<AUDIO IN(1/2)>

外部音声(ライン)の入力用端子です。
マイクなど、レベルの異なる機器を接続する場合は、別途、アンプなどでレベル合わせを行ってください。

14. 接地端子<SIGNAL GND>

コンセントのアース端子やアース棒などと接続して、接地を行ってください。(→20ページ)

15. EXT端子<EXT>

ウォッシャー制御、およびDC 12 Vの出力端子です。

(NOTE)

- [12V-OUT](4番ピン)の出力は、DC 12 V/0.5 A以内で使用してください。
- [12V-OUT](4番ピン)に接続するコードの長さは、AWG24のコードを使用されるときで0.5 mまでです。
0.5 mよりも長くする場合は、さらに太いコードを使用してください。

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DC GND	3	COLD
2	HOT	4	12V-OUT

16. 状態表示ランプ<POWER/STANDBY>

本機の状態によって、次のように点灯します。

- 橙色：待機(スタンバイ)状態
- 緑色：電源ON時
- 赤色：機器の異常時

■ 各映像フォーマット時の出力条件

● SDI出力時

	フォーマット	SDI出力
HD/SDI	1080/59.94p	○
	1080/50p	○
	1080/59.94i	○
	1080/50i	○
	1080/29.97PsF*3	○
	1080/25PsF*3	○
	1080/23.98PsF*3	○
	1080/29.97p*1	○
	1080/25p*1	○
	1080/23.98p*2	○
	720/59.94p	○
	720/50p	○

*1 Native出力

*2 Over59.94i出力

*3 1080/25PsFは、モニター画面に50iが表示される場合があります。また、1080/23.98PsFと29.97PsFは、モニター画面に59.94iが表示される場合があります。

● IP映像伝送出力(1ch/多ch表示)

1ch表示		
解像度	1920x1080/1280x720/640x360/320x180/160x90 (SYSフォーマットには非依存)	
フレームレート	59.94 Hz	1fps/2fps/3fps/5fps/6fps/10fps/15fps/30fps/60fps*1
	50 Hz	1fps/2fps/5fps/10fps/12.5fps/25fps/50fps*2

*1 60fpsはH.264配信で1920x1080または1280x720のときのみ

*2 50fpsはH.264配信で1920x1080または1280x720のときのみ

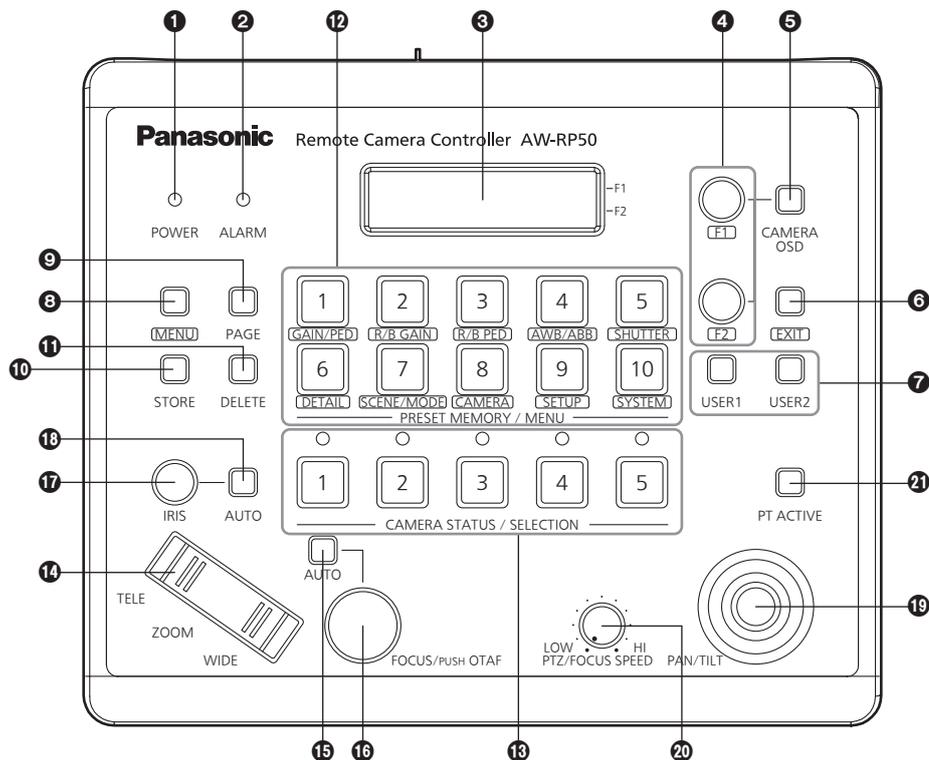
多ch表示					
設定	H.264 CH1	H.264 CH2	H.264 CH3/CH4	JPEG CH1/CH2/CH3*3	
解像度	1920x1080 1280x720	1920x1080 1280x720 640x360 320x180 160x90	1280x720 640x360 320x180 160x90	1920x1080 1280x720 640x360 320x180 160x90	
フレームレート	59.94 Hz	60 fps	5 fps 15 fps 30 fps	5 fps 15 fps 30 fps	1 fps 2 fps 3 fps 5 fps 6 fps 10 fps 15 fps 30 fps
	50 Hz	50 fps	5 fps 12.5 fps 25 fps	5 fps 12.5 fps 25 fps	1 fps 2 fps 5 fps 10 fps 12.5 fps 25 fps

*3 JPEG CH1/CH2/CH3は、それぞれ異なる解像度のみ指定可能

AW-RP50 (別売品)

詳細な操作については、AW-RP50の操作・設定編を参照してください。

■ 制御パネル部



① POWER ランプ [POWER]

DC 電源入力端子に電源が入力されているときに、背面の POWER スイッチ (22) を ON にすると点灯します。

② ALARM ランプ [ALARM]

電源に異常 (電圧低下) があるときに点灯します。
また、リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー) を受信したときに点灯します。
ALARM ランプが点灯した場合は、すぐに使用を中止し、必ず販売店へご連絡ください。
そのまま使用すると、AW-RP50 が故障する原因となることがあります。
アラーム情報は、TALLY/GPI 端子 (25) から外部機器に出力することもできます。

③ LCD パネル

現在の設定状態を表示します。

④ F1 ダイヤル、F2 ダイヤル [F1、F2]

メニューの値を変更するときに回して、決定するときに押します。
F1 ダイヤルで LCD パネルの上段に表示している項目を操作し、F2 ダイヤルでは下段の項目を操作します。
リモートカメラのオンスクリーンディスプレイの表示内容や操作方法は、カメラの種類によって異なります。

⑤ CAMERA OSD ボタン [CAMERA OSD]

CAMERA OSD ボタンを長押しするとボタンが点灯し、選択しているリモートカメラのオンスクリーンメニューがリモートカメラの出力映像に表示されます。
点灯中に再度 CAMERA OSD ボタンを長押しするとメニューが消え、ボタンも消灯します。

⑥ EXIT ボタン [EXIT]

メニューの操作で、1 階層戻るときに押します。

⑦ USER ボタン [USER1、USER2]

メニューにある設定項目の一部の機能を、[USER1]、[USER2] にアサインして使用することができます。

- アサイン可能な機能：
 - Super Gain、Haze Reduction、Fan、Heater、Defroster、Wiper、Washer
- [Wiper] の機能は、USER ボタンを押したのち、PRESET MEMORY/MENU ボタンの 1 ~ 3 (1 : Off、2 : Slow、3 : Fast) を押します。

⑧ MENU ボタン [MENU]

PRESET MEMORY/MENU ボタン (12) でメニューを呼び出すときに押します。
点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

点灯 : メニューの操作が有効

消灯 : メニューの操作が無効

⇒「メニューの基本操作」参照

⑨ PAGE ボタン [PAGE]

リモートカメラのプリセットメモリーを指定するときに押します。
PAGE ボタンを押すとボタンが点灯し、プリセットメモリーのページを選択するモードに入ります。
このモードで PRESET MEMORY/MENU ボタン (12) を押してページ番号を指定します。
次に、ページ内の番号を PRESET MEMORY/MENU ボタンで指定します

⑩ STORE ボタン [STORE]

現在選択されているリモートカメラのプリセットメモリーを登録するときに押します。
点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

点灯 : プリセットメモリー登録モード

消灯 : プリセットメモリー登録モード解除

AW-RP50 (別売品) (つづき)

⑪ DELETE ボタン [DELETE]

現在選択されているリモートカメラのプリセットメモリーを削除するときに押します。

点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

点灯 : プリセットメモリー削除モード

消灯 : プリセットメモリー削除モード解除

⑫ PRESET MEMORY/MENU ボタン
[PRESET MEMORY/MENU]

プリセットメモリーを呼び出したり、メニューを呼び出します。

⑬ CAMERA STATUS/SELECTION ボタン
[CAMERA STATUS/SELECTION]

5台までのリモートカメラを選択します。

点灯 : 選択状態

消灯 : 選択解除

メニューで100台までのリモートカメラを、1～20のグループに分けて登録し、制御することができます。

1～5ボタンに割り当てられたリモートカメラの状態を、ボタンの上にあるランプで判断することができます。

⑭ ZOOM ボタン [ZOOM]

レンズのズームを調整します。

TELE側を押す : 望遠

WIDE側を押す : 広角

押し込み具合によって、ズーム動作のスピードが変わります。

⑮ オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を自動でするときに押します。

点灯 : オートフォーカス

消灯 : マニュアルフォーカス

オートフォーカス中は、FOCUS/PUSH OTAFダイヤル(⑯)の操作が無効となります。

- リモートカメラにオートフォーカス機能がある場合に有効な機能です。

オートフォーカス機能がリモートカメラにない場合には、マニュアルフォーカス(消灯)の状態で使用してください。

- リモートカメラにエクステンダー機能が備わったレンズを使用している場合、ボタンを押すごとにエクステンダー機能も切り替わります。

点灯 : エクステンダー機能が有効

消灯 : エクステンダー機能が無効

(レンズのコントロールケーブルを回転台に接続する方法は、回転台の取扱説明書を参照してください。)

⑯ FOCUS/PUSH OTAF ダイヤル
[FOCUS/PUSH OTAF]

手動でフォーカス制御を行います。

時計方向に回す :

フォーカスが遠距離側に動く

反時計方向に回す :

フォーカスが近距離側に動く

ダイヤルを押すと一時的にオートフォーカス動作をして焦点を合わせます。(OTAF)

オートフォーカス中(オートフォーカスボタン(⑮)が点灯しているとき)は、操作が無効となります。

OTAF : ワンタッチオートフォーカス

⑰ IRIS ダイヤル [IRIS]

手動でレンズ絞りを制御します。

時計方向に回す :

レンズ絞りが開く方向に動く

反時計方向に回す :

レンズ絞りが閉じる方向に動く

長押しする :

レンズ絞りが閉じる

⑱ オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を自動でするときに押します。

点灯 : オートアイリス

消灯 : マニュアルアイリス

⑲ PAN/TILT レバー [PAN/TILT]

リモートカメラの向きを制御します。

左右に倒す : 左右方向に動作

前後に倒す : 上下方向に動作

レバーを倒す角度により、動作スピードが変わります。

⑳ PTZ/FOCUS SPEED ダイヤル
[PTZ/FOCUS SPEED]

リモートカメラの制御(パン、チルト、ズーム、フォーカス)速度を調整します。

時計方向に回す : 高速で動く

反時計方向に回す : 低速で動く

㉑ PT ACTIVE ボタン [PT ACTIVE]

PAN/TILT レバー操作の有効と無効を切り替えるときに長押しします。

点灯、または点滅 :

PAN/TILT レバーの操作が有効

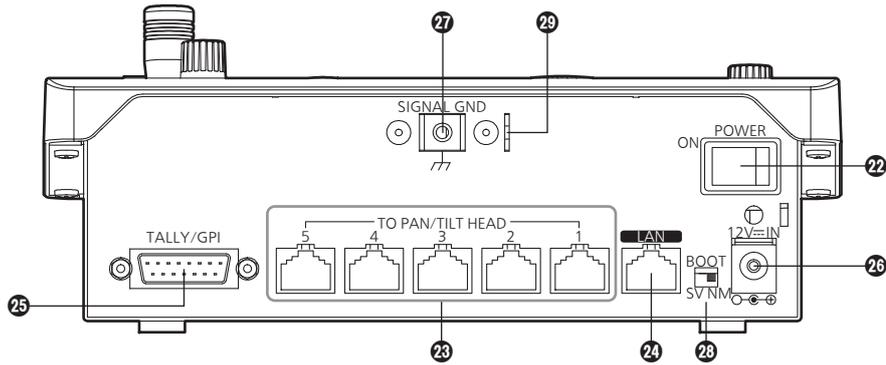
消灯 : PAN/TILT レバーの操作が無効

- メニュー操作 ([SETUP]メニュー → [OPERATE] → [PT ACTIVE]項目) で「P/T/Z/F」に設定しているときは、PAN/TILT レバーに加え、ZOOM ボタン、オートフォーカスボタン、FOCUS/PUSH OTAFダイヤルも、操作の有効と無効が切り替わります。

- PT ACTIVE ボタンが点滅しているときは、スイッチャーのパラメーター制御用としてPAN/TILT レバーとZOOM ボタンを操作できます。

- メニュー操作 ([SETUP]メニュー → [SW LINK] → [P/T LEVER]項目) で「Button Select」に設定しているときは、PAN/TILT レバーとZOOM ボタンの制御用途を切り替えることができます。

■ 背面部

**22 POWER スイッチ [POWER]**

POWER スイッチを ON にすると POWER ランプ (●) が点灯し、操作することができます。

23 TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5 端子

[TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5] (RJ-45)

リモートカメラをストレートケーブル (カテゴリー 5 以上) で接続してください。

24 LAN 端子 [LAN] (RJ-45)

(10BASE-T/100BASE-TX)

IP 接続対応のリモートカメラ、スイッチャー、およびホストコンピュータを LAN ケーブルで接続します。

AW-RP50 と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル (カテゴリー 5 以上) を使用してください。

ハブ (スイッチングハブ) 等を経由して接続する場合は、ストレートケーブル (カテゴリー 5 以上) を使用してください。

25 TALLY/GPI 入出力端子 [TALLY/GPI]

(D-sub 15 ピン、メス、インチねじ)

26 DC IN 端子 [12V = IN] (DC 12 V)

付属の AC アダプターを接続します。

27 グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

28 SERVICE スイッチ [SV/NM]

メンテナンス用のスイッチです。

通常は、「NM」の位置で使用してください。

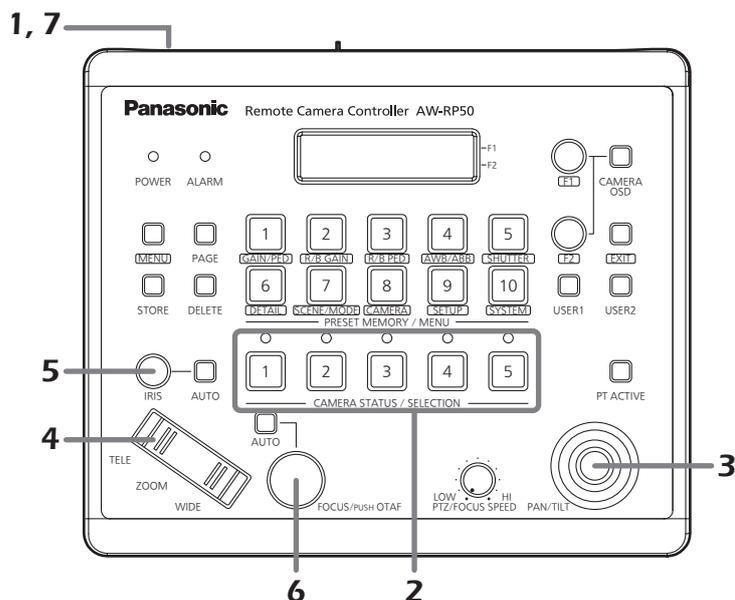
29 ワイヤー取り付け金具

盗難防止のために、市販の盗難防止用ワイヤーを取り付ける金具です。

AW-RP50 (別売品) (つづき)

■ AW-RP50の基本操作

詳細な操作については、AW-RP50の操作・設定編を参照してください。



1. AW-RP50の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。

AW-RP50に電源が供給され、POWERランプが点灯します。

- ただし、[CAMERA] → [POWER] → AUTO ON項目が「On」のときには、[SYSTEM] → CAM IP ADR項目で管理されているリモートカメラに対して自動的に電源Onを指示します。

2. リモートカメラを選択する

CAMERA STATUS/SELECTION ボタンで制御するリモートカメラを選択します。

3. リモートカメラの向きを調整する

PAN/TILT レバーでリモートカメラの向きを調整します。

4. ズームを調整する

ZOOM ボタンでレンズのズームを調整します。

TELE 側を押すと望遠側になり、WIDE 側を押すと広角側になります。

5. レンズの絞りを調整する

IRIS ダイアルで、レンズの絞りを調整します。

- 調整しているときは、LCDパネルにレベルメーターが表示されます。(レベルメーターの表示は、目安です。)

IRIS

---*---+-----

〈NOTE〉

1台のリモートカメラに対して複数のAW-RP50から調整を行うと、レベルメーターが正しく表示しないことがあります。

6. フォーカス調整をする

FOCUS/PUSH OTAF ダイアルを回して、レンズのフォーカス調整を行います。

マニュアルフォーカスのときに FOCUS/PUSH OTAF ダイアルを押すと、一時的にオートフォーカスモードになり自動で焦点を合わせます。

- OTAF (ワンタッチオートフォーカス) は、OTAF 機能があるリモートカメラに有効です。

7. AW-RP50の電源を切る

POWERスイッチをOFFにします。

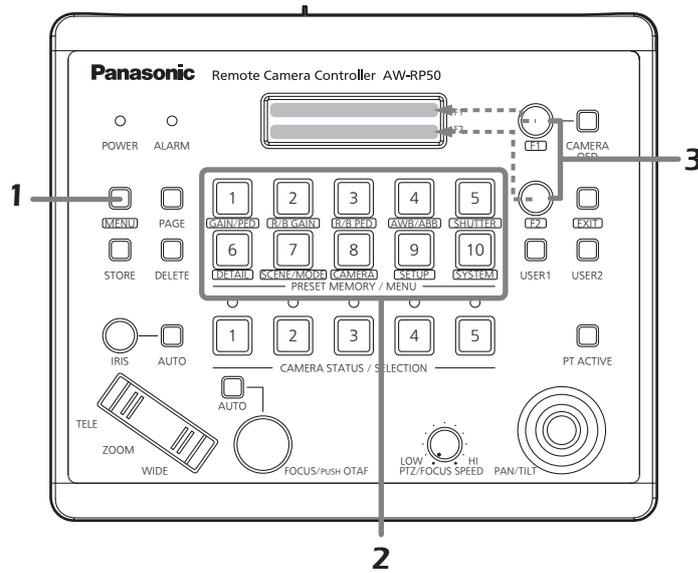
AW-RP50の電源が切れ、POWERランプが消灯します。

- AW-RP50の電源をOFFにしても、接続されているリモートカメラの電源はOFFされません。

AW-RP50 (別売品) (つづき)

■ メニューの基本操作

詳細な操作については、AW-RP50の操作・設定編を参照してください。



1. MENU ボタンをONにする

MENU ボタンを押して点灯させます。

2. 目的のメニューを選択する

PRESET MEMORY/MENU ボタンを押して点灯させます。
選択したメニューが、LCD パネルに表示されます。

3. F1 ダイヤルとF2 ダイヤルで設定値を変更する

メニューの選択および設定値の変更は、F1 ダイヤルとF2 ダイヤルで行います。

LCD パネルの上段に表示される項目は、F1 ダイヤルで操作します。
LCD パネルの下段に表示される項目は、F2 ダイヤルで操作します。

- メニューを1階層戻るときは、EXIT ボタンを押します。
- 設定項目に“↓”が表示されている場合は、F1 ダイヤルまたはF2 ダイヤルを押すことで値が確定し、設定が反映されます。

1. GROUP SELECT



- 設定項目に“↓”が表示されていない場合は、F1 ダイヤルまたはF2 ダイヤルを回すことで値が確定し、設定が反映されます。

R GAIN : ±0 ← F1 ダイヤル
B GAIN : ±0 ← F2 ダイヤル

ネットワークの設定を行う

IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う

本機のネットワークに関する設定は、IP簡単設定ソフトウェアを使って行うことができます。

IP簡単設定ソフトウェア (EasyIPSetup.exe) は、以下のWebサイトからダウンロードして入手することができます。

日本語： https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
 英語： <https://pro-av.panasonic.net/en/>

本機を複数台設定する場合は、カメラごとに行う必要があります。

IP簡単設定ソフトウェアを使って設定できない場合は、設定メニューのネットワーク設定画面[Network]で個別に本機とパーソナルコンピュータの設定を行います。(→PDF 86ページ)

〈NOTE〉

- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器とIPアドレスが重複すると、正しく動作しません。IPアドレスが重複しないように設定してください。
- 1台のカメラに対して複数のIP簡単設定ソフトウェアから同時にネットワークの設定を行わないでください。また、リモートカメラコントローラーAW-RP50の「自動IP設定」の操作を同時に行わないでください。IPアドレスの設定がわからなくなる原因になります。
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- 旧バージョンのIP簡単設定ソフトウェア (Ver 4.25R00 よりも古いバージョン) では、本機を表示したり設定したりすることはできません。

1.IP簡単設定ソフトウェアを起動します。

2.[検索] ボタンを押します。



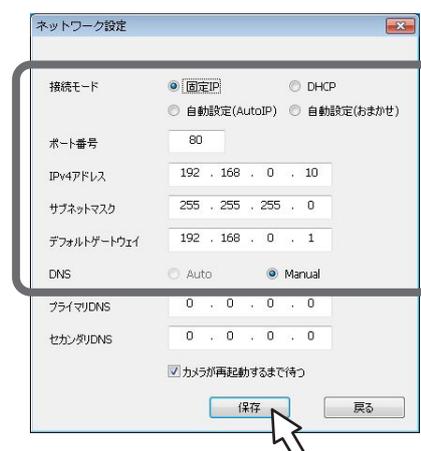
3.設定するカメラのMACアドレス／IPv4アドレスをクリックし、[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。



〈NOTE〉

- DHCPサーバーを使用している場合、本機に割り振られたIPアドレスは、IP簡単設定ソフトウェアの[検索] ボタンをクリックすると確認できます。
- IPアドレスが重複している場合、該当するカメラの[IPv4アドレス重複]欄に、重複するカメラNo.が表示されます。
- [カメラ画面を開く] ボタンをクリックすると、選択したカメラのLive画面が表示されます。
- 本機は、IPv4/IPv6切り替え機能に対応しています。

4.ネットワークの各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



〈NOTE〉

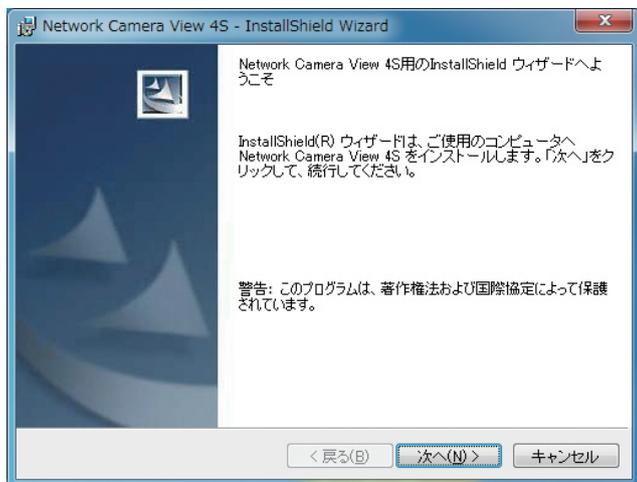
- DHCPサーバーを使用している場合、IP簡単設定ソフトウェアの[DNS]を[Auto]に設定することができます。
- [保存] ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前に外部DC電源やLANケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度設定をやり直してください。
- ファイアウォール(ソフト含む)を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。

ネットワークの設定を行う (つづき)

表示用プラグインソフトウェアをインストールする

本機のIP映像をWebブラウザで表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」(ActiveX®)をインストールする必要があります。

表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールしてください。



〈NOTE〉

- お買い上げ時は、[Automatic installation of viewer software]が[On]に設定されており、本機から直接インストールすることができます。Webブラウザの情報バーにメッセージが表示される場合は、45ページを参照してください。
- 最初にパーソナルコンピュータからライブ画面[Live]を表示すると、表示用プラグインソフトウェア(ActiveX)のインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。
- 表示用プラグインソフトウェア(ActiveX)のインストールが完了しても、画面を切り替えるたびにインストール画面が表示される場合は、パーソナルコンピュータを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、パーソナルコンピュータごとにライセンスが必要です。表示用プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、[Maintenance]画面の[Product info.]タブ(→PDF 99ページ)で確認できます。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 表示用プラグインソフトウェアをアンインストールするには、Windows上で[コントロールパネル]→[プログラム]→[プログラム]のアンインストールを選択し、「Network Camera View 4S」を削除してください。

カメラの第三者アクセス防止のため
ユーザー認証機能の使用をご検討ください
(ただしAW-RP50接続時は使用できません)

リモートカメラはインターネット経由でアクセスできるように設定できます。第三者からの意図しないアクセスによるプライバシーや肖像権の侵害、情報漏えいなどを未然に防止するために、設置時にユーザー認証機能の使用をご検討ください。

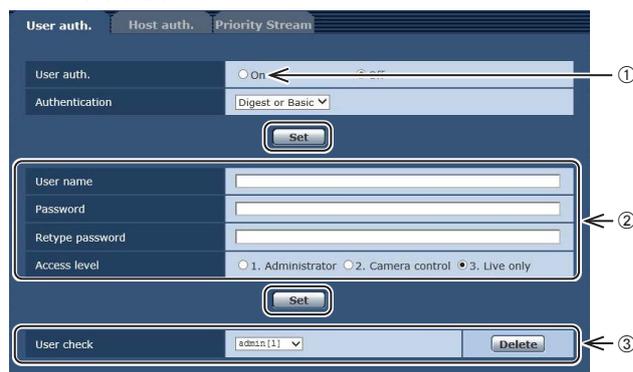
設定手順例(製品ごとの設定手順は、お使いの製品の取扱説明書をお読みください)

- ① ユーザー認証をOnにする
- ② 新規にユーザー名/パスワードを設定する
- ③ 初期ユーザー名を削除する

準備:

1. カメラに接続したPCでカメラのブラウザ画面を表示する。
2. [Setup]⇒[User mng.]の順にクリックしてユーザー管理画面を表示する。

ユーザー認証画面



- ① ユーザー認証をOnにする
※工場出荷時はOff
⇒選択後に「Set」ボタンをクリック
 - ② 新規にユーザー名/パスワードを設定する
※アクセスレベルは「1. Administrator」を選択
⇒入力後に「Set」ボタンをクリック
 - ③ 初期ユーザー名を削除する
⇒削除するユーザー名「admin[1]」を選択後に「Delete」ボタンをクリック
- ※ お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。

ユーザー名/パスワードの管理について

- 容易に推測されない文字と数字の組み合わせで設定してください。「11111」などの連続する数字や文字、関係者の生年月日や電話番号は避けてください。
入力可能な文字と文字数については、「ユーザー認証設定画面」(→PDF 84ページ)をお読みください。
- ユーザー名/パスワードは定期的に変更してください。
- 設定したユーザー名/パスワードは必ず控えておいてください。
- 管理者が不明のユーザー名は削除してください。

ユーザー名/パスワードを変更後は

以下の機器に登録したユーザー名/パスワードも変更してください。製品ごとの設定手順は、お使いの製品の取扱説明書をお読みください。

- リモートカメラコントローラー(AW-RP50、AW-RP120)
- リモートオペレーションパネル(AK-HRP200)
- PCやタブレット端末およびスマートフォンのブラウザ/アプリケーションソフト

故障と思ったら

■ 操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	• 電源プラグが正しく接続されていますか？	---
	• LANケーブルがIP制御用LAN端子<LINK/ACT>に確実に接続されていますか？	P.28
	• PoE++(IEEE802.3bt Draft ver.2.0準拠)対応の給電装置と本機のネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	P.15
	• 複数のPoE++端末を接続できる給電装置によっては、給電できるトータル電力の制限を超えると、電源給電されないものがあります。 → PoE++給電装置の取扱説明書をお読みください。	---
	• コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.12
操作できない	• 電源は入っていますか？ → 電源を入れた直後には、パン・チルト・ズーム・フォーカスの各テスト動作が行われます。 これらの動作が行われない場合は、本機に電源が正しく供給されていません。	PDF P.23
	• セーフモード機能がはたらいている場合があります。	PDF P.108
	• リミッター機能を設定していませんか？	PDF P.107
	• 操作したい本機を正しく選んでいますか？	PDF P.23
コントローラーで操作できない	• コントローラーと正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.12
	• AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200をネットワークで接続する場合は、ユーザー認証とホスト認証をOFFにする必要があります。	PDF P.84 PDF P.85
	• 本機に対応するためにコントローラーのアップデートが必要です。 → アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。 https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav	---
	• HTTPS接続の場合、AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200をネットワークで接続できません。	PDF P.91 PDF P.96
操作と逆方向に回転する	• 据え置き設定は正しく選択されていますか？	PDF P.48 PDF P.80
	• コントローラーと接続している場合、コントローラー側で逆転の設定がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。	---

故障と思ったら (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
Web ブラウザーからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • IP制御用LAN端子<LINK/ACT>にカテゴリ5以上のLANケーブルは接続されていますか？ 	P.13~P.15
	<ul style="list-style-type: none"> • IP制御用LAN端子<LINK/ACT>の<LINK> LEDは点灯していますか？ → 点灯していない場合は、LANに正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 LANケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 	P.13~P.15
	<ul style="list-style-type: none"> • 電源は入っていますか？ → 電源を入れた直後には、パン・チルト・ズーム・フォーカスの各テスト動作が行われます。 これらの動作が行われない場合は、本機に電源が正しく供給されていません。 	PDF P.23
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？ 	PDF P.85
	<ul style="list-style-type: none"> • 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ → 次の方法で接続を確認してください。 【Windows の場合】 Windows のコマンドプロンプトで > ping [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20 分以内にIP 簡単設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更する。 【Mac の場合】 OS X のターミナルで > ping -c 10 [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20 分以内にIP 簡単設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更する。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	PDF P.96
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ → 本機およびアクセス機器(パーソナルコンピューター・携帯端末・コントローラーなど)、他のカメラのIP アドレスを確認してください。 	PDF P.52
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定したサブネットマスクが設置先のネットワークサブネットと一致していますか？ → 本機およびアクセス機器に設定されているサブネットマスクをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	PDF P.52
	<ul style="list-style-type: none"> • Web ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？(本機とパーソナルコンピューターが同一サブネットに接続されている場合) → Web ブラウザーの[プロキシ設定]でプロキシサーバーが設定されている場合は、本機のIP アドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 	---
<ul style="list-style-type: none"> • 本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っていないですか？(本機とパーソナルコンピューターが異なるサブネットに接続されている場合) → 本機に設定されているデフォルトゲートウェイをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	PDF P.52	

故障と思ったら (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
Web 設定画面 [Setup] の設定値がうまく更新されない、表示されない	<p>[Windows の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> パーソナルコンピューターのキーボードの [F5] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 <p>[Mac の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> パーソナルコンピューターのキーボードの [Command] + [R] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> 以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 <p>[Windows の場合]</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [全般] タブをクリックし、「閲覧の履歴」の [削除] ボタンをクリックする。 [閲覧の履歴の削除] ダイアログボックスで、[インターネット一時ファイル] チェックボックスをオンにして [削除] ボタンをクリックする。 [OK] ボタンをクリックする。 <p>[Mac の場合]</p> <ol style="list-style-type: none"> Safari で [Safari] - [キャッシュを空にする] を選択する。 「キャッシュを空にしてもよろしいですか？」ポップアップの [空にする] ボタンをクリックする。 	---
	<p>[Windows の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット一時ファイルの設定において、「保存しているページの新しいバージョンの確認」が「Web サイトを表示するたびに確認する」に設定されていない場合、Web 設定画面がうまく表示されないことがあります。 <p>→ 以下の手順を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [全般] タブをクリックし、「閲覧の履歴」の [設定] ボタンをクリックする。 [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスで、[保存しているページの新しいバージョンの確認] の [Web サイトを表示するたびに確認する] ラジオボタンをオンにする。 [OK] ボタンをクリックする。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 <p>→ 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。</p>	---
設定ファイルのダウンロードができない	<p>[Windows の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルのダウンロード機能が無効になっていませんか？ <p>→ 以下の手順を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [セキュリティ] タブをクリックし、「このゾーンのセキュリティのレベル」の [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。 [セキュリティ設定] ダイアログボックスで、[ファイルのダウンロード] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 [Internet Explorer 8 のみ] [ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 [OK] ボタンをクリックする。 [OK] ボタンをクリックする。 	---
パーソナルコンピューターや外部機器、リモートコントローラーからの制御が不安定になる	<ul style="list-style-type: none"> Android 端末が 2 台以上接続されていませんか？ <p>→ Android 端末では、本機に同時接続できる台数は 1 台のみです。</p>	---
認証画面が連続して表示される	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ <p>→ 本機にアクセス中に、別の Web ブラウザーでログイン中のユーザーのユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り替えたりするたびに、認証画面が表示されます。Web ブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。</p>	PDF P.84
	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー認証方式の設定を変更していませんか？ <p>→ [User auth.] - [Authentication] の設定を変更した場合は、Web ブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。</p>	PDF P.84

故障と思ったら (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
画面表示に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPSモードでアクセスしていませんか？ HTTPSでは、復号処理のため、表示が遅くなります。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？ → プロキシを経由しないようにWebブラウザの設定を行ってください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照していませんか？ → 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、IP映像の更新速度が遅くなったりする場合があります。 	---
携帯端末からカメラにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • URLが間違っている、または、URLの最後に「/mobile」が未入力になっていませんか？ → URLが正しく入力されているか確認してください。携帯端末から本機にアクセスする場合は、パーソナルコンピュータからアクセスするとき使用するURLの最後に「/mobile」と入力する必要があります。 	PDF P.102
	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯端末のHTTPSのSSL暗号方式が本機と異なっていませんか？ → 本機の[HTTPS] - [Connection]を[HTTP]に設定して、再度アクセスしてください。 	PDF P.91
	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	PDF P.105
パーソナルコンピュータの[ネットワーク]にカメラのショートカットアイコンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • UPnPのWindowsコンポーネントが追加されていますか？ → お使いのパーソナルコンピュータに、UPnPのWindowsコンポーネントを追加してください。 	PDF P.90

故障と思ったら (つづき)

■ 映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	• 接続した機器と正しく接続されていますか？	P.12～P.16
	• 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？	PDF P.23
	• 映像信号設定は正しく選択されていますか？	PDF P.47 PDF P.80
	• 設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力していますか？	P.28
映像が上下逆になる	• 据え置き設定は正しく選択されていますか？	PDF P.48 PDF P.80
複数の色の帯 (カラーバー) が表示される	• カメラ映像に切り替えてください。	PDF P.26
メニュー画面が表示される	• カメラメニューを終了してください。	PDF P.30～P.37
メニュー画面が表示されない	• SDI OUT 2端子からの出力は、OSDの表示ができません。 SDI OUT 1/PM端子からの出力を使用してください。	---
自動でフォーカスが合わない	• フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。	PDF P.26
	• 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はマニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。	PDF P.27
マニュアルフォーカスのとき、 ズーミングでフォーカスが合わない	• テレ端でフォーカスは調整されましたか？ → フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス調整後、ズーミングしてください。	---
	• 使用条件によっては、フォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はフォーカスをオート設定で使用してください。	PDF P.26
ナイトモードでフォーカスが合わない	• 可視光で撮影していませんか？ → 可視光と赤外線では屈折率の違いによりフォーカス位置が異なります。本機では、ナイトモード時は波長900 nm付近の赤外線を想定しています。 必要に応じてマニュアル調整を実施してください。	PDF P.27
1080/59.94pで映像が出力されない	• Format設定で [59.94p] に設定されていますか？ → Format 設定をしてください。	PDF P.47 PDF P.80
1080/29.97PsF 時に映像が カクカクした感じに見える	• 正常に動作しています。 → PsF (Progressive segmented Frame) 方式では、1フィールドと2フィールドの両方に同じ画を収録することでプログレッシブと同様の映像を出力しますので、若干カクカクした感じに見えることがあります。	---
映像の色がおかしい	• ATW (自動追尾式ホワイト調整) を有効にしてください。	PDF P.28
	• 場面によってはATWでは正しい色にならない場合があります。 → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。	PDF P.28
映像が明るすぎる、または暗すぎる	• アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動で調整してください。	PDF P.27
	• アナログ映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。	---
映像が白黒になる	• ナイトモードになっていませんか？ → ナイトモードでは出力は白黒になります。	PDF P.40 PDF P.73
ホワイトバランス自動調整 (AWB) が できない	• ナイトモードになっていませんか？ → ナイトモードではホワイトバランス自動調整 (AWB) はできません。	PDF P.40 PDF P.73

故障と思ったら (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
ナイトモードで画面が明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> • ナイトモードでは、盗撮防止のため絞りは開放に設定されます。光源側で明るさを調整してください。 	PDF P.27
ナイトモードでアイリスが操作できない		
被写体がゆがんで見える	<ul style="list-style-type: none"> • 本機はMOS撮像素子を使用しており、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、被写体がすばやく横切った場合、ゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。 	---
撮影中にフラッシュをたくと、画面の上側あるいは下側だけが明るくなる	<ul style="list-style-type: none"> • MOS撮像素子では、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、フラッシュをたくとそのフィールドでは下側が明るくなり、次のフィールドでは上側が明るくなります。これは故障ではありません。 	---
明るさが周期的に変わったり、色が変化したり、横じまが流れて見えたりする	<ul style="list-style-type: none"> • 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下で発生することがあります。(フリッカー) このようなときは電子シャッタースピードを、電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをお勧めします。 	---
細かい線や周期的な模様を撮影したとき、ちらついて見えたり、色がついたりする	<ul style="list-style-type: none"> • 撮像素子上で画素が規則正しく配列されているため発生します。被写体の空間周波数と画素ピッチが近づくと目立ちますので、アングルを変えるなどしてください。 	---
音声入力にノイズが発生する	<ul style="list-style-type: none"> • 以下のことが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - カメラ、スイッチングハブ、周辺機器のアースが接地されていない - 電力線などが近くに配線されている - 周辺に、強い電界や磁界を発生する機器がある(テレビやラジオの送信アンテナ、エアコンのモーター、電源トランスなど) <p>周辺機器の見直しで改善されない場合は、アンプ付きマイクを使用するか、出カインピーダンスの低いオーディオ出力を接続してください。</p>	P.20

故障と思ったら (つづき)

■ IP映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
画像が表示されない	[Windows の場合] ・表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ → 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	P.36
	[Windows の場合] ・インターネット一時ファイルの設定において、「保存しているページの新しいバージョンの確認」が「Webサイトを表示するたびに確認する」に設定されていない場合、ライブ画面 [Live] のIP映像が表示されないことがあります。 → 以下の手順を行ってください。 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、「閲覧の履歴」の[設定]ボタンをクリックする。 ③ [インターネット一時ファイルと履歴の設定]ダイアログボックスで、「保存しているページの新しいバージョンの確認」の[Webサイトを表示するたびに確認する]ラジオボタンをオンにする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。	---
画像がぼやける	・フォーカスは正しく調節されていますか？ → フォーカス調節を確認してください。	---
画像が更新されない	・ご使用のWeb ブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。 ・ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。 ・本機のIP映像設定を変更した場合、一時的に画像の表示が止まる場合があります。 → マルチスクリーン表示を含む、本機へのアクセス状況を確認し、中断可能なアクセスを停止してください。 その後、以下の手順を確認してください。 [Windowsの場合] パーソナルコンピューターのキーボードの[F5]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 [Macの場合] パーソナルコンピューターのキーボードの[Command] + [R]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 [携帯端末の場合] WEB ブラウザーの[更新]ボタンを押すなどして画面の更新を実施し、設定値の取得要求を行ってください。	---
画像がうまく更新されない、表示されない	・以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 [Windowsの場合] ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、「閲覧の履歴」の[削除]ボタンをクリックする。 ③ [閲覧の履歴の削除]ダイアログボックスで、「インターネット一時ファイル」チェックボックスをオンにして[削除]ボタンをクリックする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。 [Macの場合] ① Safariで[Safari] - [キャッシュを空にする]を選択する。 ② 「キャッシュを空にしてもよろしいですか？」ポップアップの[空にする]ボタンをクリックする。	---
	・以下の手順で、Wi-Fiの再設定を行ってください。 [携帯端末(iOS)の場合] [設定]アイコン - [一般] - [リセット]から、[ネットワーク設定をリセット]を実行後、新たにWi-Fi設定を行ってください。	---
	・ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	---
H.264画像が表示されない	・表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.264画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。	---
	・インターネット経由でカメラとパーソナルコンピューターを接続していませんか？ → [Internet mode(over HTTP)]の設定を[On]にします。	PDF P.68

故障と思ったら (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> • 伝送路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されず、映像が乱れる場合があります。 → ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 伝送路にて映像パケットの順序入替が発生し、映像が乱れる場合があります。 → インターネットサービスプロバイダーを、カメラ側とパーソナルコンピュータ側で同一のものにすることで回避できる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	---
携帯端末で、しばらく放置すると画面が暗くなる	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯端末の省電力機能がONになっていませんか？ → 携帯端末の省電力機能をOFFにして、常に画像が表示されるようにしてください。 	---
複数のWeb ブラウザーを起動してH.264画像を表示したとき、1つのWeb ブラウザーに複数のカメラ画像が切り替わり表示される	<p>【Windows の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> • パーソナルコンピュータのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 → この現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 それでも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 <p>ここでは、Windows 7を例に説明します。ご使用の環境によっては、設定を変更できない場合もあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから[画面の解像度]を選択する ② [詳細設定]をクリックする ③ [トラブルシューティング]タブを選択し、[設定の変更]をクリックする ④ [ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックする(管理者アカウント以外でログオンしている場合は、パスワードおよび、必要に応じてユーザー名も入力し、[はい]をクリックする) ⑤ [ハードウェアアクセラレータ]の項目を一番左の[なし]に変更し、[OK]ボタンをクリックする 	---

故障と思ったら (つづき)

■ Web画面

お使いのパーソナルコンピュータのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えることはありません。

【Windowsの場合】

下記の説明で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerに表示されるメッセージバーのことです。

Internet Explorer 9.0/10.0/11.0の場合：

「情報バー」は、Internet Explorerの下方に表示されます。



症 状	原因・対策	参照ページ
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [許可 (A)] を選択してください。 	---
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください…」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報バーをクリックし、[このサイトのポップアップを常に許可 (A)…] を選択してください。[このサイトのポップアップを許可しますか?] 画面が表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcV4SSetup.exe' アドオンをインストールしようとしています。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [インストール (I)] を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする (I)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります：'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcV4SSetup.exe' をインストールするには、ここをクリックしてください…」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報バーをクリックし、[ActiveXコントロールのインストール (C)…] を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする (I)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] を選択します。[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>IP映像が表示用の枠と一致していない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像のDPI設定が120 DPI以上に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → パーソナルコンピュータ画面上で右クリックし、「画面の解像度」-「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックし、「小-100%(規定)」に設定してください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorerのズーム機能における拡大レベルが100%以外に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → Internet Explorerのメニューバーから「表示 (V)」-「拡大 (Z)」を選択し、「100%」をクリックしてください。 	---
<p>画面レイアウトが崩れている、または画面の一部のボタンが操作できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorerのメニューバーから「ツール (T)」-「互換表示設定 (B)」を選択し、本機を互換表示しないように設定してください。 	---

定 格

電源電圧: DC (===) 12 V - 21.8 V (DC IN端子)
 DC (===) 42 V - 57 V (PoE++電源)
 消費電流: 5.5 A - 3.1 A (DC IN端子)
 1.2 A (PoE++電源)

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度	: -15℃～45℃ (-5℃以下のときは予熱が必要)
動作周囲湿度	: 10%～100%(結露なきこと)
保存温度	: -20℃～55℃
保存湿度	: 10%～95%(結露なきこと)
質量	: 約9.0 kg
寸法(幅 × 高さ × 奥行)	: 258 mm × 357 mm × 397 mm (突起部とケーブルカバーを含む)
仕上げ	: シルバー、耐塩害処理
防水・防塵性	: JIS C0920保護等級IP65準拠
最大許容風速	: 15m/秒: 正常動作、50m/秒: 動作可能、 60m/秒: 非破壊
ワイパー	: 標準搭載
ヒーター	: 標準搭載
デフロスター	: 標準搭載
対応コントローラー	: AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200 ・コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。 https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

■ 入力

入力端子

12V === IN	: XLRコネクター ・DCコードは、以下の長さのコードを使用してください。 12 V入力時: 最長3 m (AWG16コード使用時) 21.8 V入力時: 最長20 m (AWG16コード使用時)
G/L IN	: BNCコネクター ・BBS(Black Burst Sync)、3値同期に対応。 ・BBSでは、サブキャリアにはロックしません。
音声入力	: mini XLRコネクター (Line入力) #1: INPUT1 Common、#2: INPUT1 HOT、 #3: INPUT1 COLD、#4: INPUT2 Common、 #5: INPUT2 HOT、#6: INPUT2 COLD

■ 出力

映像出力

HD-SDI OUT	: SMPTE424/SMPTE292準拠 75 Ω (BNC × 2) ・SDI OUT 1/PM端子からはOSD出力が可能ですが、SDI OUT 2端子からはOSD出力ができません。
------------	---

■ 入出力

入出力端子

LAN	: IP制御/映像出力/PoE++給電用LAN端子 PoE++(IEEE802.3bt Draft ver.2.0準拠)
RS-422	: CONTROL IN RS-422A
EXT	: DC 12 V/0.5 A #1: DC GND、#2: HOT、#3: COLD、 #4: 12V-OUT ・[12V-OUT] (4番ピン)に接続するコードの長さは、AWG24のコードを使用されるときで0.5 mまでです。 0.5 mよりも長くする場合は、さらに太いコードを使用してください。

■ 機能/性能

【カメラ部】

撮像素子	: 1/2.86型Full-HD 3MOS
レンズ	: 光学20倍ズーム/デジタルズーム10倍 F1.6～F3.4 (f=4.5 mm～90 mm 35 mm換算: 32.13 mm～642.5 mm)
フォーカス	: オート/マニュアル切り替え
フォーカス距離	: ズーム全域: 800 mm Wide端: 400 mm
色分解光学系	: 3MOS
最低照度	: 2 lx(50 IRE、F1.6、36 dB、蓄積なし)
水平解像度	: 1000 TV本Typ (中心部)
ゲイン切り替え	: Auto、0 dB～42 dB(1 dBステップ) 37 dB～42 dBは、Super Gain Mode
フレームミックス	: 0 dB、6 dB、12 dB、18 dB、24 dB ・1080/29.97p、1080/23.98p、 1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、 1080/25p、1080/25PsFフォーマットのときは設定できません。 ・[Iris Mode]や[Focus Mode]が[Auto]に設定されているときは、18 dBと24 dBに設定することができません。

定 格 (つづき)

電子シャッター :

- 59.94p/59.94i時
1/100、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
- 29.97p時
1/30、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
- 23.98p時
1/24、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
- 50p/50i時
1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、
1/2000、1/4000、1/10000
- 25p時
1/25、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000

シンクロスキャン :

- 59.94 Hz時
60.15 Hz ~ 642.21 Hz (255段階)
- 50 Hzの時
50.15 Hz ~ 535.71 Hz (255段階)

ガンマ : HD、FILMLIKE1、FILMLIKE2、FILMLIKE3
0.30 ~ 0.75 (マニュアル設定)

ホワイトバランス : AWB A、AWB B、ATW、3200K、5600K、
VAR (2000K ~ 15000K)

クロマ量可変 : OFF、-99% ~ 40%

シーンファイル : Scene1、Scene2、Scene3、Scene4

インテリジェント機能 :
蓄積/ゲイン/アイリス/電子シャッター/ND/
ATWの各オート機能

出力フォーマット :
1080/59.94p、1080/29.97p*1、
1080/23.98p*2、1080/59.94i、
1080/29.97PsF*3、1080/23.98PsF*3、
720/59.94p、1080/50p、1080/25p*1、
1080/50i、1080/25PsF*3、720/50p
*1 Native出力
*2 Over59.94i出力
*3 1080/25PsFは、モニター画面に50iが表示さ
れる場合があります。また、1080/23.98PsFと
29.97PsFは、モニター画面に59.94iが表示され
る場合があります。

同期方式 : 内部/外部同期 (BBS/3値同期)

ライン入力<AUDIO IN(1/2)>

入力インピーダンス : ハイインピーダンス

入力 :

- 2 ch、XLR平衡入力
- 入力信号レベル : +4 dBu/0 dBu/-20 dBu (メニューにて選択)
- ボリューム可変範囲 : -40 dB ~ +12 dB (1 dBステップ ;
MENUにて可変)

出力 :

- 4 ch、SDI出力に重畳
- エンベデッドオーディオ出力レベル :
FS-12 dB : -12 dBFS、FS-18 dB : -18 dBFS、
FS-20 dB : -20 dBFS (MENUにて選択)
- サンプリング周波数 : 48kHz (ビデオに同期)
- 量子化ビット数 : 24ビット (LPCM)
- 音声の圧縮方式 (IP) : G.726、AAC-LC (High quality)

【回転部】

据付方法 : 据え置きまたは吊り下げ
• 安全のため、指定の取付金具にて
固定が必要です。

カメラ/回転台コントロール :

IP接続ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • PoE++イーサネットハブありの場合 LANケーブル*4 (カテゴリ5e以上、スト レートケーブル) 最大100 m • PoE++イーサネットハブなしの場合 LANケーブル*4 (カテゴリ5以上、スト レートケーブル) 最大100 m
AWシリーズ接続 ケーブル/標準プロ トコル接続ケーブル	LANケーブル*4 (カテゴリ5以上、ストレー トケーブル) 最大1000 m

*4 STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

• イーサネットハブを介さずにコントローラーと直接接続する
場合は、クロスケーブルを使用してください。

PAN/TILT動作スピード :

最高速度 60°/s以上

PAN動作範囲 : ±175°

- 吊り下げ設置時は、動作範囲を固定するピンの位
置を変更する必要があります。
詳しくは、「回転範囲の切り替え (吊り下げ設置)」
(→10ページ) を参照してください。

TILT動作範囲 : -30° ~ 210°

- PAN、TILTの位置によっては、本体が映像に映り
こむことがあります。
- 吊り下げ設置時は、動作範囲を固定するピンの位
置を変更する必要があります。
詳しくは、「回転範囲の切り替え (吊り下げ設置)」
(→10ページ) を参照してください。

静粛性 : 60°/s (NC45以下)

防振補正 : D.I.S.S. (Dynamic Image Stabilizing System)

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

=== DC (直流)

定 格 (つづき)

■ コネクター信号の内容

12V IN	
1	GND
2	—
3	—
4	+12V
HA16RA-4P(77) ヒロセ電機製	

- DCコードは、以下の長さのコードを使用してください。
12 V入力時：最長3 m (AWG16コード使用時)
21.8 V入力時：最長20 m (AWG16コード使用時)

LAN	
1	TX+
2	TX-
3	RX+
4	SPARE_RX+
5	SPARE_RX-
6	RX-
7	SPARE_TX+
8	SPARE_TX-
6116173-1 タイコ エレクトロニクス製	

RS-422	
1	GND
2	TALLY
3	RXD-
4	TXD-
5	TXD+
6	RXD+
7	—
8	—
TM11R-5M2-88 ヒロセ電機製	

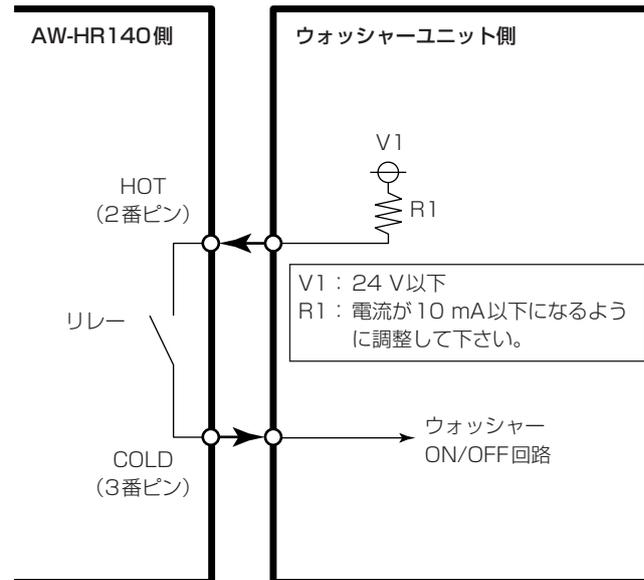
- 本機にはタリールンプがありませんが、ピン1 (GND) とピン2 (TALLY信号) をショートすると「OSD Off With Tally」機能を使用することができます。
- 接点入力のため、ピン2 (TALLY信号) には電圧を加えないでください。

AUDIO IN(1/2)	
1	INPUT1 COMMON
2	INPUT1 HOT
3	INPUT1 COLD
4	INPUT2 COMMON
5	INPUT2 HOT
6	INPUT2 COLD
AG6FCCH アンフェノール製	

EXT	
1	GND
2	HOT
3	COLD
4	DC 12V OUT
HR10A-7R-4SC(73) ヒロセ電機製	

- [12V-OUT] (4番ピン) の出力は、DC 12 V/0.5 A以内で使用してください。
- [12V-OUT] (4番ピン) に接続するコードの長さは、AWG24のコードを使用されるときで0.5 mまでです。
0.5 mよりも長くする場合は、さらに太いコードを使用してください。

EXT端子のウォッシャー入出力接続例



さくいん

A	
AW-RP50	30
D	
DC IN端子	29
E	
EXT端子	29
G	
G/L IN端子	28
I	
IP簡単設定ソフトウェア	35
IP制御用LAN端子	28
M	
MODEスイッチ	8, 29
R	
RS-422端子	28
S	
SDI OUT端子	28
お	
音声入力端子	29
か	
外部同期信号入力フォーマット	28
各映像フォーマット時の出力条件	29
カメラ台座部固定用穴	28
カメラヘッド部	28
け	
ケーブルカバー固定用ねじ穴	28
し	
状態表示ランプ	29
せ	
接地	20
接地端子	29
は	
パンヘッド部	28
ひ	
表示用プラグインソフトウェア	36
ふ	
付属品	25
ら	
落下防止ワイヤー取り付け穴	28
わ	
ワイパー	28

保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店** へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書(本書に付属)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品 **8年**

当社では、HDインテグレートッドカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス(保守・点検)

定期メンテナンス(保守・点検)は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	HDインテグレートッドカメラ
品番	AW-HR140
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
3. この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費及び高所の取外し、取付けに要する実費
5. 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

HD インテグレートドカメラ
保証書

本書はお買い上げの日から右記期間中故障が発生した場合には
〈無料修理規定〉の記載内容で無料修理を行うことをお約束す
るものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は〈無
料修理規定〉に記載しております。お客様の個人情報に関する
お問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細
は〈無料修理規定〉をご参照ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-233

品番	AW-HR140
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	ご住所 お名前 電話 () —
※	住所・販売店名
販売店	電話 () —

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2017-2024